

目次

はじめに	1
図面	2

【モデル作成編】

基本手	戶順	17
STEP	1:現場登録	18
STEP	2 : 通芯入力	24
STEP	3:躯体入力	27
1	ベースの入力	28
2	基礎柱の入力	42
8	基礎梁の入力	55
4	スラブの入力	76
階種	多動	
6	柱入力	87
6	梁入力	93
7	スラブ入力	95
8	壁入力	98
9	階段入力	112
階種	多動	
0	勾配面作成	126
•	柱入力	130
Ð	梁入力	134
₿	RFL のスラブ入力	137
14	壁入力	139

G	パラペッ	ト入力	 144
Б	ハフハツ	ト人刀	 14

STEP 4:自動積算		161
STEP 5:集計		164
STEP 6 : 鉄筋計算、	及び施工図・加工帳出力	169

【基本操作編】

システムの画面について	179
平面図入力画面でのマウス操作	181
補助線の作成	184
マスターメンテナンス	191
データフォルダの保存及び復元	213

【応用編】

PDF・DXF 図面の活用	221
通芯の取込み	221
平面図入力画面の背景として配置	227
自動認識機能での躯体配置	235

付録	240
----	-----

はじめに

本トレーニングテキストでは、次の構造物を例に図面を参照しながら3Dモデリング、鉄筋計算、そして集計までの操作方法を詳しく説明します。 初めてご利用の方は、基本操作編【P179】、及びオンラインヘルプ(ムービ)の「よく使う機能」と「チュートリアル」をご覧の上、始めることをおす すめします。





モデル作成編



鉄之助ソリッドトレーニングテキスト



モデル作成編







鉄之助ソリッドトレーニングテキスト







柱リスト

符号	C1		C2	C1A	1P2
位置	全断面		全断面		
2F					
ХхҮ	650 x 650	(650 x 650	550 x 550	
主筋1	10-D25		16-D25	10-D25	
フープ	田 D13 @100	8	D13@100	D13@100	
中子1	D13,D13 @100	D1	3,D13 @100	D13,D13 @100	
ダイヤ筋	-		-	-	
備考					
1F					
ХхҮ	650 x 650		650 x 650		350 x 350
主筋1	10-D25	ļ	16-D25		8-D22
7-7	<u> </u>		H D13@100		D10@100
	D13,D13 @100	D1	3,013@100		
ダイヤ肋 世老	-		-		<u>-</u>
加考					
□+7⇒☆ミルミーオ		所築工事			
」助建梁設計事 第000000号	事防//T 鉄太郎 柱リスト				

S-10

•

面



• 义

面

2F・3F 梁リスト

符号	G1	(52	G3
位置	全断面	端部	中央	全断面
			3 3 3	
ВхD	400 x 650	400	x 850	300 x 650
上端筋	3-D22	4-D22	3-D22	2-D22
下端筋	3-D22	3-1	022	2-D22
STP	D13 @200	D	13 @200	D13 @200
中子	-		-	-
腹筋	2-D10	2-1	D10	2-D10
腹筋幅止	D10@1000	D10 (@1000	D10 @1000
備考				

纰 力助建筑設計車 数	鉄太郎邸 新築工事		S_12
第00000号 鉄太郎	梁リスト		5-12



モデル作成編







基本手順

次のフローチャートは鉄之助ソリッドにおけるモデル作成の基本手順です。このフローチャートに沿ってモデルを作成します。



STEP 1: 現場登録

モデル作成編

Notes - water - make a									- 0
27-1 #st7_1- 4/9-3	ンテナンス								
プロジェクト名称	現場番号	現場	1名称 重量 人名	地葉 躯体					
191961	0.519 (5) (5)	表示现場総:	숨 \$ † 19,168	根切り 杭					
	18080002 🎷 M	Aode 2018	19,168	部位表示		根切帳票 1体積 根切り面積 一 碎石	:一覧 床付け 捨てユン	捨てコン型枠 埋め戻	して残去し法面
	🥪 18090001 🦖 🛪	k来小学校新 範工事	0		(1	(m2) (m3)	(m2) (m3)	(m2) (m3)	(m3) (m2)
	_								
得意先名称 音先1									
	-								
			•						
				<					>
	新規	閱登録	現場名称−	-覧					
							_		
			绊筋大さの設定				7		
			鉄筋太さの設定						
			鉄筋太さの設定						
			鉄筋太さの設定 〇 径マスターの	径太さ					
			鉄筋太さの設定 〇 径マスターの 〇 月日 2000 	径太さ	1.10				
			鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リブ	径太さ ・節を考慮した	太さ)				
			鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リブ 	径太さ ・節を考慮した	太さ)				
			鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リプ) 	径太さ ・節を考慮した	太さ)				
			鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径(リプ	径太さ ・節を考慮した	太ざ)				
規登録			鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径(リブ	経太さ ・節を考慮した	太ざ)				
規登録			鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径(リブ	経太さ ・節を考慮した	太さ)		 		
規登録	м. 4 . L		鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リブ	経太さ ・節を考慮した	太さ)		 		
規登録 新規作成 >	シポート		鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リプ	経太さ ・節を考慮した	太さ)				
規登録 新規作成 ~	ひボート		 鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リプ 	経太さ ・節を考慮した	太さ)			7	
規登録 新規作成 ~ 現1	(ンポート) 場:		鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リプ	経太さ ・節を考慮した	太さ)			表示色	背景色
·規登録 新規作成 → 現 ¹	(ンポート) 易: : :		 鉄筋太さの設定 ● 径マスターの ● 最外径 (リブ ● していたいのでの ● 設計室(リブ 	経太さ ・節を考慮した 「 場新規登録	太さ)	「できます。		表示色	背景色
規登録 新規作成 - 現 ¹ 得意5	ひボート 易: た: 得意:	: [鉄筋太さの設定 ● 径マスターの ● 最外径 (リブ ● していたいのでの ● しいたいのでの ● しいたいのでのでの ● しいたいのでのでの ● しいたいのでのでののでのでのでのでのでのでの ● しいたいのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	経太さ ・節を考慮した - U場新規登録B	太さ)	Ūēstā,		表示色	背景色選択
規登録 新規作成 - 現 ¹ 得意分	 ○ボート 湯: ま: 得意: 	: [先1	 鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リブ ● していたいのです ● しいたいのです ● しいたいので	経太さ ・節を考慮した 「場新規登録BB 「キャン	太さ) 特のみ変更 +7ル	できます。 OK		表示色	皆景色 選択
規登録 新規作成 り 現り 得意分 プロジェク	ひポート 易: た: 得意: ト: プロ・	: [先1 ジェク	 鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リブ ● していたいのです ● しいたいのです ● しいのです ● しいのです ● しいのです<td>経太さ ・節を考慮した 「場新規登録B キャン</td><td>太さ) ちのみ変更 セル</td><td>できます。 OK</td><td></td><td>表示色</td><td>皆景色選択選択</td>	経太さ ・節を考慮した 「場新規登録B キャン	太さ) ちのみ変更 セル	できます。 OK		表示色	皆景色選択選択
規登録 新規作成 / 現 現 1 得意5 プロジェク	(ノポート 場: た: 得意: ト: ブロ・	: [先1 ジェク	 鉄筋太さの設定 ○ 径マスターの ● 最外径 (リブ ● していたいのです ● していたいのです ● していたいのです ● していたいのです 	経太さ ・節を考慮した 「「「」 「」 「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	太さ) 年のみ変更 セル	できます。 OK		表示色	 背景色 選択 選択
規登録 新規作成 - 現 ¹ 得意5 プロジェク	ſンポート 易: : た: 得意: ト: ブロ・	: [先1 ジェク	 鉄筋太さの設定 ● 径マスターの ● 最外径(リブ ● 最外径(リブ ● 認知(1) ● 認知(1)<td>経太さ ・節を考慮した 「 」場新規登録BB 「 キャン</td><td>太さ) 寺のみ変更 セル</td><td>できます。 OK</td><td></td><td>表示色</td><td>背景色 選択 選択</td>	経太さ ・節を考慮した 「 」場新規登録BB 「 キャン	太さ) 寺のみ変更 セル	できます。 OK		表示色	背景色 選択 選択

(1) 鉄之助ソリッドを起動します。
 システムのメイン画面が表示されます。

- (2) メインメニューの現場名称一覧より、「新規登録]欄をダブルクリックします。
 鉄筋太さ設定画面及び新規登録画面が表示されます。
- (3) 鉄筋太さを選択し「OK」ボタンをクリックします。

ここでは、「最外径 (リブ・節を考慮した太さ)」 を選択します。

現場新規登録画面の「径太さ」ボタンに、選 択した鉄筋太さ「径太さ(最外径)」が表示さ れます。初期値は「径マスターの径太さ」です。

※ 鉄筋干渉チェック、配筋納まり図、図面 制作などを行う場合、「最外径(リブ・節を考 慮した太さ)」を選択することをおすすめしま す。

※ 加工取付を行う場合、「径マスターの径太 さ」(公称径)を選択することをおすすめしま す。



(4) 現場名称を入力します。

(5) 必要に応じて、現場名の表示色と背景色を設定します。
 「表示色」・「背景色」ボタンをそれぞれクリックし、色を選択します。

「表示色」は文字色として、「背景色」は背景 色として現場一覧に表示されます。 ここでは、「表示色」に赤色、「背景色」に緑 色を選択します。

(6) 得意先・プロジェクトを設定します。
 右側の「選択」ボタンをクリックすると、得
 意先・プロジェクトの選択画面がそれぞれ表
 示されます。
 現場登録後、得意先及びプロジェクトの変更
 はできません。

※ 該当の得意先名・プロジェクト名が表示 されない場合、【マスターメンテナンス】より 追加登録を行います。



- (7) 階設定を行います。
 - 「階設定」ボタンをクリックします。
 階設定画面が表示されます。
 - ②「階名」欄をクリックします。
 右側に「▼」マークが表示されます。
 - ③「▼」マークをクリックします。階名称リストが表示されます。
 - ④ 該当の階名称を選択します。
 - ⑤「階高」欄をクリックし、階高を入力します。

「Enter」キーを押すと、マウスカーソルが階 名欄と階高欄を交互に移動しながら自動的に 入力されます。必要に応じて変更を行います。

※ 階名称リストに、「B1F、B2F・・・」の ような該当の階名称が表示されない場合、【マ スターメンテナンス】より追加登録を行いま す。 【マスターメンテナンス】の操作方法は【P191】

をご参照ください。

階高

3800

3700

登録

^

定尺·径材質設定					
径対応材質:	0001	通常			選択
定尺の求め方:	0001	通常			選択
径材質対応メーカー:	0000				選択
			キャンセル	ڌ ا	登録

新規登録										
新規作成インオ	°−⊦									
現場:	:	鉄太郎邸 新	築工事			表示色	背景色			
得意先:	富山鉄筋	富山鉄筋								
プロジェクト:	鉄之助建設	鉄之助建設								
階設定	定尺·径材質影	定 径太さ(最)	外径)		キャンセ	216	登録			

選択		
定着・継手・アンカ単位設定:		選択
フック余長設定:		選択
	キャンセル	登録

(8) 必要に応じて、定尺・径材質を設定します。 「定尺・径材質設定」ボタンをクリックします。 右側の「選択」ボタンをクリックすると、「径 対応材質」・「定尺の求め方」・「径材質対応メー カー」選択画面が表示されます。 ここでは初期値のままにしておきます。

> ※ 径対応材質・定尺取り・径材質対応メー カーは、【マスターメンテナンス】より追加・ 変更が可能です。

> 【マスターメンテナンス】の操作方法は P191 をご参照ください。

- (9) 新規登録画面に戻り、「登録」ボタンをクリックします。
 定着・継手・アンカ単位設定とフック余長設定選択ウインドウが表示されます。
- (10) 定着・継手・アンカ単位を設定します。
 右の「選択」ボタンをクリックすると、設定
 ウインドウが表示されます。

ここでは、「mm・dの寸法指定」を選択しま す。定着・継手・アンカ単位の計算値初期値 として設定されます。





🞲 鉄之助ソリッドプロ版 Ver1.6.7.0				
メインメニュー 集計メニュー マスターメンテナン: プロジェクト名称 全て プロジェクト1 ABC建設 鉄之助建設	ス 現場番号 → 新規登録 → 18090005	現場名称 表示現場総合計 分鉄太郎郎新築工事	重量 Kg 0 0	地葉 躯体

(13)「OK」ボタンをクリックします。

メイン画面の現場名称一覧に現場名が表示されます。

※ 現場名が表示されない場合、プロジェクト・得意先一覧で「全て」または登録時に選択したプロジェクト名及び得意先名を選択してください。

STEP 2: 通芯入力

Ø

胶 鉄之助ソリッド プロ版 Ver1.6.7.0						
メインメニュー 集計メニュー マスターン	(ンテナン)	λ				
プロジェクト名称		現場番号		現	場名称	重量 Kg
プロジェクト1		_ 新担登稳	表示	現場総	合計	
ABC建設 鉄之助建設		18090005	🔗 鉄太郎邸	新築工事		
F	🌶 鉄之財)建設 - 鉄太郎邸	新築工事	- 0	×	
	<u>RF</u>				3	
	2=					
	12				7	

右クリックーサブメニュー

(1) 現場名称一覧より現場名を選択しダブルク リックします。 階選択画面が表示されます。

> 階選択画面については【P180】をご参照くだ さい。

(2) 任意の階の部材をクリックします。 平面図入力画面が表示されます。

> 通芯は全階共通のため、どの階からで入力し ても構いません。

ボタンをクリッ

於 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 1 F→ H=0 - □ ×	(3)	メインメニューより「通芯」ボタンをクリッ
ファイル(E) 表示(Y) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H)		クレます。
₩ 図 Δ [□ □ □ ∅ 7 H ២ 0 # <mark>通芯</mark>		通芯入力モードになります。
平面図入力画面		
1 分 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 1 F→ H=0		
ファイル(<u>F</u>) 表示(<u>V</u>) 階移動(<u>M</u>) 階コピー(<u>C</u>) 印刷(<u>P</u>) 設定(<u>S</u>) ヘルプ(<u>H</u>) アシストフォーム表示(F1)		
通芯入力モード		
》 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 1F→H=0	(4)	メニューより、表示番号順にボタンをクリッ
ファイル(E) 表示(Y) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) アシストフォーム表示(F1)		クします。 縦横通芯入力画面が表示されます。
1 2		



- (5) たて方向の通芯を入力します。
 「Enter」キーを押すと、カーソルが通名欄と
 間隔欄を交互に移動します。前行の入力内容
 に基づき自動入力されますが、必要に応じて
 変更します。
- (6) 同じく、よこ方向の通芯を入力します。

入力欄を右クリックすると、行削除・行挿入 ができます。

(7)「OK」ボタンをクリックします。 平面図入力画面に通芯が描画されます。

> ※ 通芯は上記の入力方法以外に、PDF 及び DXF ファイルから取り込むこともできます。 また、通芯の追加・削除・間隔変更など様々 な編集が可能です。 操作方法は、応用編【P221】及び本システム

の「オンラインヘルプ」をご覧ください。

STEP 3: 躯体入力

モデル作成編

躯体入力は、各階での平面図入力になります。下階から上階へ移動しながら部材を入力していきます。



RFI

STEP 3: 躯体入力 - 1 ベースを入力します。



ファイル(<u>F</u>) 表示(<u>V</u>)	ファイル(E) 表示(V) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) アシストフォーム表示(F1)									
🇰 ESC 🗠 🖓 #	## ESC ∽ ~ # HH 222 🎭 🗖									



【階移動】

階選択画面で基礎階以外を選択した場合、階移動を 行います。

- (1) 平面図入力画面のメニューより「ESC」をク リックし、メインメニューへ戻ります。
- (2) メニューバーの「階移動」で、「階指定」を選 択します。
- (3)「1F」を選択し、1Fのフロア面へ移動します。
 タイトルバーに「1F→H=0」が表示されていることを確認します。

※上下隣接している階へ移動する場合、「階移 動」で「上階」・「下階」を選択すると便利です。

※各階フロア面での作業内容は、【P17】及び 【P27】をご参照ください。







 (4) マウスで該当の形状をクリック、またはキー ボードより数字キーを押します。
 ここでは、定形1番を選択します。
 定形寸法入力ウインドウが表示されます。

> 定形一覧に存在しない形状は、「自由」ボタン をクリックし作成することができます。

(5) ベースの平面寸法を入力します。縦・横寸法欄にそれぞれ「1800」を入力します。

(6)「閉じる」ボタンをクリックします。
 平面寸法入力エリアに指定の形状と寸法が表示されます。

【便利な機能】

配筋リスト入力時に、「Enrer」キーを押すと次の入 力項目に自動的に移動します。 キーボードのテンキーから数字キーと「Enter」キー で入力を行うと作業効率がアップします。





(7) カブリを設定します。

しています。

 平面寸法入力エリアの右側の「カブリ入力」 ボタンをクリックします。
 カブリ入力ウインドウが表示されます。

図のように、カブリ入力欄「1」・「2」・「3」・ 「4」は、躯体形状の辺①から順に各辺に対応

各番号の入力欄にカーソルを合わせると、対 応している辺が赤色で表示されます。

- ② 最初のカブリ入力欄に、数値「70」を入力し 「Enter」キーを押します。
 残り辺に自動コピーされます。
- ③「閉じる」ボタンをクリックし、配筋リスト入 カ画面へ戻ります。





(8) 断面寸法入力を行います。
 躯体の高さ、上下カブリ数値を入力します。
 はかま筋高さは自動計算されます。

「はかま筋高さ自動計算(ベース筋の径を考 慮)」の選択により、はかま筋高さが自動計算 されます。後にベース筋を入力すると、はか ま筋の高さは再計算されます。

- (9) ベース筋を入力します。
 - 「本数」または「ピッチ」を入力します。
 どちらか一つ入力します。
 - ②「径1」の欄で鉄筋径を入力します。
 数値「19」を入力すると「D19」に自動変換 されます。

※「材質」は、現場登録時の「径対応材質」
設定に基づいて自動設定されます。
※「径2」欄は、2種類のベース筋を交互に
配筋する場合入力します。
※「主筋2」のボタンをクリックすると、二
層配筋の入力が可能です。
※「外周補強」は、定形1番と自由入力形状
以外を選択した場合入力可能になります。



	主筋1		主筋2				主筋1			主筋2	
	アンカ長	フック形状	アンカ長	フック形状			アンカ長		フック形状	アンカ長	フック形状
1	20					1	20	d			
2	20 mm]				2	20	d	10.02		
3	20 d				 	З	20	d	180 90°		
4	20					4	20	d	135°		

アンカ・フック入力 主筋1 主筋2 フック形状 アンカ長 フック形状 アンカ長 180° 1 20 d 2 20 d 180° З 20 d 180° 4 20 d 180°

(10) ベース筋のアンカ・フックを設定します。

 ベース筋入力エリアの「アンカ・フック」ボ タンをクリックします。

アンカ・フック入力ウインドウが表示されま す。

図のように、入力欄「1」・「2」・「3」・「4」は、 躯体形状の辺①から順に各辺に対応していま す。

各番号の入力欄にカーソルを合わせると、対応している辺が赤色で表示されます。

- ② 最初のアンカ長欄に、数値「20」を入力し 「Enter」キーを押します。
 残り辺に自動コピーされます。
- ③ アンカ長の単位を選択します。
 マウスでクリックするか上下方向キー「↑↓」
 で「d」を選択し「Enter」キーを押します。
 残り辺の単位が自動設定されます。
- ④ 同じ方法で、フック形状を「180°」に設定します。

⑤「閉じる」ボタンをクリックし、配筋リスト入 力画面へ戻ります。

[「]主筋2」は二層配筋の場合設定します。
- はかま筋							
		本数	ピッチ	径	材質	分割種類	分割本数
1	縦	11		D13	SD295A		
	横	11		D13	SD295A		
2 小周補強 テーパー時分割 経営する							材質



┌腹筋					
本数	ピッチ	径	材質		
2		D13	SD295A		

- (11)はかま筋を入力します。
 - 「本数」または「ピッチ」を入力します。
 どちらか一つ入力します。
 - ②「径」の欄で鉄筋径を入力します。
 数値「13」を入力すると「D13」に自動変換 されます。
 - ③ はかま筋のツメ長さを設定します。
 - a.「計算値」ボタンをクリックし、計算値設 定画面を起動します。
 - b.「はかま筋」タブをクリックし、ツメ長さ を設定します。

ここでは、初期値「15 d」のままにします。

※はかま筋の分割を行う場合、「分割種類」及び「分割本数」を入力します。

(12) 腹筋の本数と鉄筋径を入力します。



(13) 最後に「登録」ボタンをクリックします。「F1」の配筋リストが登録され、リスト名一覧に追加されます。

```
(14) 続いて、「F2」の配筋リストを入力します。リスト名一覧の「新規作成」をクリックし、「F1」と同様に入力します。
```

【便利機能】

「登録」ボタンの左側の回チェックボックスに チェックを入れると、登録後に新規入カペー ジが自動的に開きます。

 (15)「閉じる」ボタンをクリックし、平面図入力画 面に戻ります。
 配筋リスト一覧ウインドウに「F1」・「F2」が 表示されます。

ベース底の位置は、

FL を基準に 高さ指定をします。







- (4) 躯体の芯ずれを変更します。
 - ・初期値はクリック点を中心にX・Y方向とも 均等配置されます。
 - ・変更方向の芯ずれ寸法をクリックすると、躯 体が該当寸法の位置へ移動します。
 - ・現在の芯ずれ寸法は緑色で表示されます。
 - ・該当の芯ずれ寸法がない場合、既存芯ずれ寸 法を右クリックし変更します。

【便利な機能】

通芯上の平行ツール(△マーク)をクリック すると、躯体を通芯に平行配置することがで きます。斜め通芯の場合便利です。

左図のように、通芯 A 上の△マークをクリッ クすると、斜め通芯 A に平行配置できます。



ここでは、X 方向左側の芯ずれ寸法「250」 を「675」に変更します。

(5)「OK」ボタンをクリックすると、躯体の配置 が確定されます。





- (6) 同様に、通芯 X1 と Y2 の交点をクリックし「F1」を配置します。
- (7) X2 通りのベースを配置します。ここでは、同一配筋リストを範囲指定で複数個所に一括配置する方法を説明します。

【範囲指定で一括配置】

X2 通り上の通芯交点を囲むようにドラッグします。

ドラッグ範囲内の通芯及び補助線の交点が自 動検出され、躯体の芯ずれ設定モードになり ます。

② 任意の「連動」ボタンを一つクリックします。
 「連動」ボタンが赤色で表示されます。

※芯ずれ寸法が異なる場合は、芯ずれ寸法を 設定してから「連動」ボタンをクリックします。

③ ここでは、そのまま「OK」ボタンをクリック します。

※「OK」ボタンは、必ず選択した「連動」ボ タンと同じ躯体でなければなりません。

X2通りにベースが配置されます。



(8) X3 通りのベースを配置します。配筋リスト「F2」を選択し、範囲指定で配置します。

「連動」ボタンをクリックしてから、芯ずれ寸 法を設定します。

以上でベースの躯体入力は完了です。

モデル作成編



メインメニューに戻り、「柱」を選択します。
 柱の入力モードになります。

(2)「柱本体」→「配置」ボタンを順に選択します。柱の配置モードになります。

2. 柱の配筋リストを入力します。

柱の躯体断面形状と鉄筋情報を入力します。



(1) 配筋リスト一覧ウインドウのメニューより「追加」ボタンをクリックします。
 柱の配筋リスト入力画面が起動します。

まず、柱「C1」の配筋リストを入力します。

(2) 「名称」欄にリスト符号を入力します。

柱頭・柱脚の配筋が異なる場合は、「▼断面名」ボ タンをクリックします。「柱脚」・「柱頭」に分けて 入力することができます。





- (3)「定形」ボタンをクリックします。柱の定形選択一覧が表示されます。
- (4) マウスで該当の形状をクリック、またはキー ボードより数字キーを押します。
 ここでは、定形1番を選択します。
 定形寸法入力ウインドウが表示されます。

定形一覧に存在しない形状は、「自由」ボタンをクリックし作成することができます。

(5) 柱の断面寸法を入力します。
 縦・横寸法欄にそれぞれ「650」を入力します。
 断面詳細表示エリアに指定の断面形状と寸法が表示されます。





- (6) カブリを設定します。
 - 「カブリ入力」ボタンをクリックします。
 カブリ入力ウインドウが表示されます。

図のように、カブリ入力欄の縦方向「1」・「2」・ 「3」・「4」は、断面形状の辺①から順に各辺 に対応しています。

各番号の入力欄にカーソルを合わせると、対応している辺が赤色で表示されます。

横方向の「1」・「2」・「3」はそれぞれ主筋1・ 主筋2・主筋3のカブリです。主筋2・主筋 3は芯鉄筋になります。

 ② 最初のカブリ入力欄に、数値「40」を入力し 「Enter」キーを押します。
 残り辺に自動コピーされます。



- (7) 主筋を入力します。ここでは主筋1のみ入力します。
 - 「径」の欄で鉄筋径を入力します。
 鉄筋径を入力すると材質は自動的に設定されます。
- ② 柱断面の各辺の鉄筋本数を入力します。 本数入力欄「1」・「2」・・・「8」は、断面形 状の辺①(左辺)から時計回りに各辺に対応 しています。

柱「C1」のように四角形の場合、辺「4」ま での入力になります。

2行目は、二種類の鉄筋径を使用する場合に 入力します。

※「主筋2」・「主筋3」のボタンをクリック すると、芯鉄筋の入力が可能です。 芯鉄筋の位置は、カブリ設定で決まります。



(1) 鉄筋径を入力します。
 鉄筋径を入力すると材質は自動的に設定されます。

② ピッチを入力します。

③ 形状を設定します。

- 「形状」欄にカーソルを移動すると、フープ形
 状選択パネルが表示されます。
- フープ種類タブをクリックし、該当の形状番
 号を入力します。

例えば、溶接閉鎖型フープの場合、「溶接」タ ブをクリックしてから数値「9」を入力します。

ここでは、「ツメ付き」1番を選択します。

⁽⁸⁾ フープを入力します。



(9) 中子を入力します。

ここでは、形状9番を縦・横1本ずつ入力し ます。

1~8番の形状を選択する場合、「幅」の入力 が必要です。

「中子2」・「中子3」のボタンをクリックする と、鉄筋径・ピッチ・形状が異なる中子を入 力することができます。

【便利な機能】

断面詳細表示エリアで、 中子の中央辺りを左クリックしながらマウス を動かすと、中子を移動することができます。 中子の両端部を左クリックしながらマウスを 動かすと、中子を回転することができます。 Shift キーを押しながらの場合 180°回転しま す。



(10) 仕口部の入力を行います。「仕口部」ボタンをクリックすると、仕口部入 カウインドウが表示されます。

> ここでは、フープのみを入力します。 一般部と同径・同ピッチ、溶接9番を選択し ます。

> 仕口部の入力を行わない場合、「計算値」設定 に基づき計算されます。初期値は一般部ピッ チの1.5倍、フープ形状は一般部と同じです。

(11) 最後に、配筋リスト入力画面で「登録」ボタンをクリックします。
 「C1」の配筋リストが登録され、リスト名一覧に追加されます。

【便利な機能】

配筋リスト入力画面のリスト名称一覧を右クリック し「PDF 読取入力」を選択すると、PDF ファイル から読取入力ができます。マウスだけの操作で入力 作業の効率がアップします。

詳しい操作方法は、本システムの「オンラインヘル プ」をご参照ください。







続いて、柱「C2」の配筋リストを入力します。

(12) リスト名一覧の「新規作成」ボタンをクリッ クし、「C1」と同じ手順で入力します。

「C2」では寄せ筋の設定を行います。

【寄せ筋の設定方法】

- 主筋及びフープ筋入力後、「寄せ筋」ボタンを クリックします。
 寄せ筋設定画面が表示されます。マウスホイー ルで画面の拡大縮小ができます。
- ② 寄せ筋間隔を設定します。
 寄せ筋間隔は「芯 芯寸法」・「空き寸法」ど
 ちらかで指定します。

ここでは初期値「空き寸法 1.5 d 」のままに します。

- ③ 四隅の□ボタンを1回ずつクリックします。
 X/Y 両方向の間筋が各1本ずつ角筋側に寄ります。
- ・ △ボタンをクリックすると、X/Y それぞれの
 方向で、□ボタンをクリックすると、X/Y 両
 方向で寄せ筋を増やします。





- ・ △□ボタンを右クリックするとリセットされ
 ます。
- ・間筋を直接クリックすると、より詳しい位置
 設定ができます。

 (13)「C2」の配筋リストを登録し、平面図入力画 面に戻ります。
 配筋リストー覧ウインドウに「C1」・「C2」が 表示されます。

> ※柱リスト「1P2」は2Fのフロア面で入力 します。

mm

| → □ 閉じる

3. 柱の躯体を配置します。

作成した柱の躯体断面(配筋リスト)を平面図入力画面で配置します。

🎲 鉄之助建設 - 鉄太!	郎邸 新築工事 1F→H=0	_		×
ファイル(<u>F</u>) 表示(<u>V</u>)	階移動(<u>M</u>) 階コピー(<u>C</u>) 印刷(<u>P</u>) 設定(<u>S</u>) ヘルプ(<u>H</u>)			
	off 🗖 🗇 🖉 🖉 🍅 👬 🗙			
リスト	柱下端高さ(FLを基準) 柱の配置モード			
Ö 🗈 😑	<u>支持駆体まで</u> FI			
C1	T- 4: 72 T- 91			
		÷		
柱種類				
一般 間柱				
	71 FI			
	Ψ- <i>μ</i> ² . Ψ- <i>μ</i> ² . Ψ- <i>μ</i> ² . Ψ- <i>μ</i> ² . Ψ- <i>μ</i> ² .			
<i>C</i> .		-		
ά).e				
	x1 x2	X3		
配置する位置をクリッ	ックしてください。		19%	

- (1) 配筋リスト一覧より配置する柱のリスト名を 選択します。
- (2) 柱下端高さを選択します。ここでは、「支持躯体まで」(※)を選択します。

柱下端の位置を数値で指定する場合、柱下端 高さ一覧から数値を選択します。

※配置済みのベース・柱を認識して、柱下端 高さを自動的に決定します。

(3) 通芯 X1 と Y1 の交点をクリックします。
 交点にマウスを近づけると、赤色の●が点滅します。そのままクリックします。
 躯体の芯ずれ設定モードになります。



(4) 躯体の芯ずれを変更します。

柱の芯ずれ設定方法は、ベースと同じです。 【P38】をご参照ください。

ここでは、X方向左側の芯ずれ寸法「100」 を選択します。

【便利な機能】

柱躯体の芯ずれ設定モードで、形状の中を右 クリックすると「中間断面」を設定しセット バック柱の作成が可能です。







(5) 「OK」ボタンをクリックすると、躯体の配置 が確定されます。

この位置では、ベース F1 が支持躯体となり、柱 C1 は F1 に自動的に定着します。

- (6) 同様に、X1とY2の交点をクリックし「C1」を配置します。
- (7) X2 通りの Y1/Y2 の交点に、「C1」を配置します。

二つの交点を囲むようにドラッグし、範囲指 定で配置します。

柱の範囲指定での配置方法はベースと同じで す。

操作方法は→【P40】をご参照ください。

(8) 同様に、X3 通りに「C2」を配置します。芯ずれ寸法は X 方向で右 100 になります。

以上で、基礎階の柱の躯体入力は完了です。

STEP 3: 躯体入力 - 3 基礎梁を入力します。

モデル作成編



1. 梁の配置モードにします。 於 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 1F→H=0 ファイル(E) 表示(V) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) 20 ・鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 1F→H=0 × (ル(F) 表示(V) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) ESC 🗤 🕬 ON OFF 📔 🗄 ロロア �� � / @ / 白 � ー 祈 ら X 描画線 梁太位 ESC - C / C / OK Set 全階共通 1 F 'n 🗈 😁 'n 🗈 😁 大梁 大涩 階別配筋リスト-。 全階共通配筋リスト - 管 小梁 片持大梁 片持小梁 壁構造 小梁 片持大梁 片持小梁 壁構造 天端高さ 7配密着 хà 始点をクリックしてください。 19%

メインメニューに戻り、「梁」を選択します。
 梁の入力モードになります。

(2)「梁本体」→「配置」ボタンを順に選択します。梁の配置モードになります。



梁の配筋リストは、全階共通・階別に分けて入力す ることができます。全階共通で入力すると全ての階 で配置することができます。一般的には小梁、片持 ち梁などを全階共通で入力します。

■ 階別配筋リストの入力

(1) 階別配筋リスト一覧ウインドウのメニューより「追加」ボタンをクリックします。
 梁の配筋リスト入力画面が起動します。

- まず、基礎梁「FG1」の配筋リストを入力します。
- (2)「名称」欄にリスト符号を入力します。
 ここで入力した名称は配筋リスト一覧に表示
 されます。

(3) 梁の種類と断面パターンを設定します。 「FG1」の場合、それぞれのドロップダウンメ ニューより「地中」・「大梁」・「全断面」を選 択します。

この設定により、断面名称及び入力画面が変 わります。

梁幅と梁成の寸法を入力します。 (4)

(5) 主筋の鉄筋径を入力し材質を設定します。

> 「主筋」ボタンをクリックすると、二種類の主 筋が入力可能になります。

(6) 上筋・上中吊1・下中吊1・下筋の本数をそ れぞれ入力します。

> ※全断面以外の場合、主筋がない本数欄は空 欄ではなく「0」を入力してください。

> 3段筋以上ある場合、「上中吊2」~「下中吊 2」のボタンをクリックし入力します。

(7) スタラップを入力します。 入力方法は柱のフープ筋と同じです。

400

1500

材質

材質

材質

材質

SD295A

径

径

径

径

SD345

均等割

1.5

ピッチ

ピッチ

ピッチ

本数左 右

d

7-D22

7-D22

形 本数

形

200 1

D22

空き寸法













(8) 主筋の位置を揃えます。まず、上中吊筋を上筋に揃えます。

ソルが◆●に変わります。

- 断面詳細表示エリア内でマウスホイールを回し梁断面を拡大します。
 Home キーで初期位置に戻すことができます。
- ② 移動させる鉄筋にマウスを合わせると、カー
- ④ マウスを放すと上中吊筋は上筋と一直線の位置に移動されます。
 同じ操作方法で下中吊筋を揃えます。

※この例では、主筋位置を「位置を揃える(外 寄り)」に設定しても揃えることができます。

- ・「位置を揃える(外寄り)」選択すると、 端部・中央断面を含め本数が最も多い断面の 上筋または下筋を基準に、外側の鉄筋に揃え ます。
- ・「位置を揃える(内寄り)」選択すると、 端部・中央断面を含め本数が最も多い断面の 上筋または下筋を基準に、均等により近い鉄 筋に揃えます。



	径	材質 オ	對左右_	
腹筋	D13	SD295A	4 4	
	径	材質	ピッ チ	
腹筋幅止	D10	SD295A	1000	



【便利な機能】

- ・段筋間隔で、上筋と上中吊筋1・2・3の上 下間隔を自由に設定することができます。
- 「寄せ筋」ボタンをクリックすると、寄せ筋を
 設定することができます。

各主筋本数欄の左右に◀▶マーク、下に…マー クが表示されます。左側の◀マークをクリッ クすると左へ、右側の▶マークをクリックす ると右へ指定間隔で寄せ筋を増やすことがで きます。…マークをクリックするとリセット されます。

柱と同様に間筋をクリックすると、より詳し い設定が可能です。

- (9) 腹筋及び腹筋幅止を入力します。
- (10) 主筋の定着長さを設定します。
 - 「計算値」ボタンをクリックし、計算値設定画 面を表示します。
 - ②「定着」タブをクリックします。
 - 3 主筋の定着長を初期値「40 d」を「35 d」
 に変更し、設定画面を閉じてください。



(11) 最後に、「登録」ボタンをクリックします。「FG1」の配筋リストが登録され、リスト名一覧に追加されます。

「登録」ボタンの左側の回チェックボックスに チェックを入れると、登録後新規入力ページ が自動的に開きます。

 (12) 続いて、「FG2」と「FG3」の配筋リストを入 力します。
 「FG1」と同じ手順で入力します。

> ※断面パターン選択で、「FG2」は「通り芯指 定」、「FG3」は「端部 - 中央」を選択します。 (図面上で「FG3」の配筋リストは「端部 1-中央 - 端部 2」の表記ですが、端部 1 と端部 2 の配筋内容が同じなので、ここでは「端部 - 中央」を選択します。もちろん「端部 1- 中 央 - 端部 2」を選択しても構いません。)



【通り芯指定方法】

- 断面パターンで「通り芯指定」を選択します。
 断面名称欄に「通名」・「中央」・「他端」が表示されます。
- ②「通名」欄をクリックします。
 通名選択画面が表示されます。
- ③ 左側の一覧より該当の通名をクリックし、右 側の一覧にドラッグ&ドロップします。
 複数の通名を選択することも可能です。ここでは、通名「X3」を選択します。
- ④「OK」ボタンをクリックし配筋リスト入力画 面に戻ります。

断面名称一覧に選択した通名が表示されます。

※断面パターンによる躯体配置時の注意点

- ・「通り芯指定」の場合、指定通芯と関係ない場 所に配置すると自動的に他端側の配筋になり ます。
- 「端部1-中央-端部2」の場合、
 最初にクリックした点(始点)側が端部1、
 終点側が端部2側の配筋になります。







以上で、基礎階の階別配筋リスト「FG1」・「FG2」・ 「FG3」の入力は完了です。

平面図入力画面に戻ると、階別配筋リスト一覧ウインドウに大梁として分類され「FG1」・「FG2」・「FG3」が表示されます。

■ 全階共通の配筋リスト入力

全階共通の配筋リスト一覧メニューより「追加」ボ タンをクリックします。

全階共通用の配筋リスト入力画面が表示されます。

ここで「FB1」・「B1」・「CG1」の配筋リストを入力 します。

入力方法は階別配筋リストと同じです。

全階共通配筋リスト一覧ウインドウで、「FB1」と 「B1」は小梁として、「CG1」は片持大梁として分 類表示されます。

【便利な機能】

梁の配筋リストも、PDF ファイルから読取入力がで きます。詳しい操作方法は、本システムの「オンラ インヘルプ」をご参照ください。

3. 梁の躯体を配置します。





- (1) メニューより「梁本体」→「配置」ボタンを クリックします。
 梁本体の配置モードになります。
- まず、Y1 通りの「FG1」を配置します。
- (2) 階別配筋リスト一覧より梁のリスト名を選択 します。
- (3) 天端高さを選択します。 ここでは「0」を選択します。
- (4) 描画線で「直線」配置であることを確認し、「単独線」モードにします。

「連続線」モードでは、途中で折れる梁等を配 置することができます。

 (5) 通芯 Y1 通りの X1 と X2 との交点を順にク リックします。
 躯体の芯ずれ設定モードになります。

> 柱内の配置方向の通芯上の、任意の箇所をク リックしても構いません。





- (6) 躯体の芯ずれを変更します。
 - ・初期値は描画線を中心に均等配置されます。
 - ・変更方向の芯ずれ寸法をクリックすると、躯体が該当寸法の位置へ移動します。
 - 「柱面」をクリックすると、クリック側の柱面
 と梁面を合わせます。
 - ・該当の芯ずれ寸法がない場合、既存芯ずれ寸 法を右クリックし変更します。

ここでは、外側の「柱面」をクリックし柱面 に合わせます。

- (7)「OK」ボタンをクリックすると躯体の配置が 確定されます。
- (8) 同様に、Y2 通りの「FG1」を配置します。 芯ずれの変更は必要ありません。



(9) 次に、Y1・Y2 通りの「FG2」の躯体を配置します。
 配置方法は「FG1」と同じです。
 「FG2」の場合、通芯 X3 指定の配筋リストですが、配置方向を意識する必要はありません。
 鉄筋計算時に自動判別されます。

- (10) 続いて、X1・X2・X3 通りの「FG3」の躯体を配置します。
 - X1 と X2 通りの「FG3」の天端高さ「-185」
 を予め追加する必要があります。
 - ・ 天端高さは、下図のように FL から梁の上端 までの高さを指します。



梁のリストマークの表示位置は、配置方向によって 変わりますが、配筋リストの断面パターンが「外端 1-中央-外端2」以外は、自動的に判定を行いま すので、どちら側を始点にしても構いません。







- (11) 小梁「FB1」を配置します。 ここでは、上位梁として配置します。
 - 1 メニューより「上位梁」→「梁本体」→「配置」
 ボタンを順にクリックします。

上位梁の配置モードになり、配置済みの基本 梁が参考躯体として緑色で表示されます。

 ② 全階共通配筋リストー覧より「小梁」欄をク リックします。
 全階共通として入力した小梁の配筋リストが

表示されます。

- ③「FB1」を選択します。
- ④ 通芯 X1 と X2 に交差するように補助線 Y1+3250を描画します。
 - 補助線の作成方法は【P184】をご参照ください。
- ⑤ 補助線と通芯 X1・X2 の交点をクリックし梁
 を配置します。

※上位梁・下位梁は、同じ階の同じ位置に上下で複数の梁を配置する場合や、スラブの支持躯体として大梁と小梁と区別して認識させたい場合などに活用できます。





配置躯体が存在する場合メニューのボタンが 緑色で表示されます。

基本梁入力モードでは、上位梁・下位梁の躯体が表示されません。 Shift キー + 右クリックし3D 表示すると確認できます。

4. 貫通孔を入力します。



■ まず、貫通孔の配筋リストを作成します。

(1) メニューより、「基本梁」→「貫通孔」→「配置」をクリックします。
 基本梁の貫通孔配置モードになります。

貫通孔が上位梁または下位梁にある場合、上 位梁または下位梁を選択します。

(2) 配筋リスト一覧の「追加」ボタンをクリックし、 貫通孔の配筋リスト入力画面を起動します。



- (3) リスト符号を入力し、貫通孔の形状を選択し ます。
- (4) 貫通孔のサイズを入力します。
 形状で円形を選択した場合は直径を、矩形を
 選択した場合は高さと幅を入力します。
- (5) 貫通孔の補強筋情報を入力します。
 左図のように縦・横・斜め補強筋をそれぞれ
 入力します。
 ここでは、縦方向は STP にします。
 - 縦方向の補強筋はスタラップと直筋どちらか
 に指定することができます。
 - ・スタラップの場合「□ STP」にチェックを入れ、
 「段数」または「ピッチ」を入力します。
 - ・直筋の場合、「本数」と「段数」を入力します。
- (6) 「登録」ボタンをクリックし、平面図入力画面 へ戻ります。







■ 貫通孔を配置します。

(1) 補助線を描画します。
 ここでは、通芯 X2 と交差するように補助線
 Y2-2400を描画します。
 貫通孔の配置始点になります。

補助線の作成方法は【P184】をご参照ください。

- (2) 配筋リスト及び梁天端からの距離を選択します。梁天端からの距離は、あらかじめ追加してお
- (3) 貫通孔の配置始点をクリックします。

きます。

(4) 配置方向側の任意の箇所をもう一度クリックします。
 ここでは始点から通芯 Y1 側をクリックします。

貫通孔が配置されます。


Shift キー + 右クリックすると、3D で確認できます。

5. 梁の増し打ちを入力します。



X1 と X2 通りの「FG3」の増し打ちを入力します。

■ まず、増し打ちの配筋リストを作成します。

(1) メニューより「フカシ」→「上フカシ」→「全体指定」ボタンを順にクリックします。
 上フカシの配置モードになります。

フカシは上フカシ・下フカシ・横フカシで区 分され、全体指定と部分指定で配置できます。 配筋リストは共通です。

(2) フカシ配筋リスト一覧ウインドウのメニューより「追加」ボタンをクリックします。フカシ配筋リスト入力画面が表示されます。







(7) 最後に、「登録」ボタンをクリックします。
 フカシの配筋リストが登録され、リスト名一覧に追加されます。

■ 増し打ちを配置します。

(1) 平面図入力画面に戻り、配筋リストー覧より
 「ふかし 01」、フカシ厚一覧より「185」を選択します。

フカシ厚はあらかじめ追加しておきます。

ここでは梁本体の高低が「-185」のため、天 端高さ「0」指定でも配置後のふかし厚は同 じです。



(2) X1 と X2 通りの「FG3」の躯体をそれぞれク リックします。

増し打ちが配置されます。

以上で、基礎階の梁の躯体入力は完了です。





2. スラブの配筋リストを入力します。

リスト名称一覧		リスト つ 追加			
スラブリスト : 鉄之助建設 - 鉄太郎 <新規作局>	3邸 新築工事 - 全階共通				
•	 名林 スラブ種類 ● 一般スラブ ○ 耐圧スラブ ○ 計图スラブ ○ 土間スラブ 	スラブ厚	mm	記筋種類 ● 55あみ ○ トップ ○ ベンド ○	A C B D A C
			主筋(短辺)	
	材質		фф.В	C#6	
	径	 ピッチ 径	 ピッチ		 径 ピッチ
	上筋				
	下筋				
			配力筋(長辺	2)	
	材質		ф 4 8	,i	5)辺音5 ム 辛6
	径	- ピッチ 径		 径 ピッチ	
	上筋				
	下筋				
	馬筋 電止 電査 電査・アンカ・ニゲ ※定着長 1 2 下筋 40d 2 下筋 20d ※主筋力切 1 上筋 30mm	計算値	表示エリア 		~
					登録 元に戻す 閉じる
	最大20文字				PageUp前頁/PageDown次頁

(1) 配筋リスト一覧ウインドウのメニューより「追加」ボタンをクリックします。

スラブの配筋リスト入力画面が起動します。

スラブの配筋リストは全階共通ですので、ここで全 てのリストを入力します。

まず、「SO」を入力します。

- (2)「名称」欄にリスト符号を入力します。
 ここで入力した名称は配筋リストー覧に表示
 されます。
- (3) スラブ厚を入力します。

ほかの部材同様、「Enter」キーを押すとカー ソルが自動的に次の入力項目へ移動します。

スラブ種類及び配筋種類は、初期値「一般スラブ」・ 「もちあみ」のままにします。

	交互	配筋								
					1 bb /b= 1=1					
	_				王筋(短辺)	<u>ر</u>				
			中步	快部			周辺	23部		
材質		i i	端部A 中央B				C	D部		
	徻	1	ピッチ	径	ピッチ	径	ピッチ	径	ピッチ	
上筋	D10	D13	200							
下筋	D10	D13	200							
					配力筋(長辺	ン				
			中步	快部			周辺	四部		
材質		į	端部D		中央B		C部		A部	
	径	-	ピッチ	径	ピッチ	径	ピッ チ	径	ピッチ	
上筋	D10		200							
下筋	D10		200							



(4) 短辺方向の上筋と下筋を入力します。

二種類の鉄筋径を入力すると、交互に配筋し ます。

「材質」ボタンをクリックすると、対応の材質 が表示されます。変更も可能です。

(5) 同様に、長辺方向の上筋と下筋を入力します。

配筋種類で「トップ」または「ベント」を選 択した場合、「中央部」・「周辺部」でエリア別 に鉄筋入力を行います。

「馬筋」・「幅止」ボタンをクリックすると、馬筋と幅止め筋の入力が可能になります。



(6) 「計算値」ボタンをクリックし、定着長を設定 します。

上筋の定着長を初期値から「35 d」に変更します。

スラブリスト:鉄之助建設-鉄太郎	邹 新築工業	事 - 全階共通							
〈新規作成〉	2H	81							Page:004
001:50	1047	6				副分标题			1 460-001
003:FS1		eg ・フラブ	スラン	7厚	150 mm	EL版/建現	C /	4 <u>C</u>	
004.031	0 耐圧	スラブ				0 hy7	DE	зр	
						<u> へ</u> いド			
	 土間 	ನ್ರಶ್	前方				C	4 C	
					主筋(短辺	1)			
			中乡	电部			周	辺部	
	材質		ВА	¢	·央B		C部		0部
		径	ピッチ	径	ピッチ	径	ピッチ	径	ピッチ
	上筋	D10 D13	200						
	下筋	D10	200						
		1			配力筋(長)	四)		1	
			中央部						
	材質	端音	βD	中央B			C部		4 8 6
		径	ピッチ 	径	ピッチ	径	ピッチ	径	ピッチ
	上筋	D10	250						
	下筋	D10	250						
						1		1	
	馬筋								
	200425	_							
	幅止								
		計算値							
	■定着	著・アンカ・ニゲ							^
	*	※定着長 1 上路 40d							
		2.下筋 20d							
	*	≪土助刀/り 1上筋 30mm							
		2. 下筋 30mm							~
								登録 元(3)	ミす 閉じる
	最大20文字	2						PageUp前貢	[/PageDown)次頁

- (7) 配筋リスト入力画面に戻り、「登録」ボタンを クリックします。
 「S0」の配筋リストが登録され、リスト名一 覧に追加されます。
- (8) 続いて、「S1」・「FS1」・「CS1」の配筋リスト を入力します。

リスト名一覧の「新規作成」ボタンをクリックし、「SO」と同じ手順で入力します。

(9) 「閉じる」ボタンをクリックし、平面図入力画 面に戻ります。

> 配筋リストー覧ウインドウに「S0」・「S1」・ 「FS1」・「CS1」が表示されます。

3. スラブの躯体を配置します。





柱線分を考慮する場合



柱線分を考慮しない場合

まず、基本梁に囲まれたスラブ「FS1」と「S0」を 配置します。

- 一般スラブ配置モードで、配筋リスト「FS1」
 を選択します。
- (2) 天端高さ「-1000」を入力し選択します。
- (3) 配置エリアの任意の場所をクリックします。 「FS1」が基本梁を支持躯体とし配置されます。

※上位スラブ・下位スラブを使った入力では、 同じ階で二層に分かれたスラブを配置するこ とができます。

「□柱線分を考慮しない」設定を選択すると 柱を考慮せずにスラブを配置し鉄筋計算を行 います。(左図)



(4) 同様に、「SO」を配置します。天端高さは「O」を選択します。

※一般スラブは、梁と境界線に囲まれたエリ ア以外では配置できません。少なくとも一辺 に支持躯体として梁が必要です。 支持躯体とする梁がない場合は、単独スラブ で配置します。

続いて、上位梁で分けられたエリアに「SO」を配置します。

(5) メニューより「基本梁 + 上位梁」ボタンをク リックします。

> 上位梁として配置した「FB1」の躯体が表示 されます。

・「基本梁 + 上位梁」を選択すると、基本梁及 び上位梁として配置した梁躯体が表示されま す。スラブ躯体が上位梁を支持躯体として判 定させる場合に選択します。





- 初期値「基本梁」を選択すると、基本梁として配置した躯体のみ表示されます。上記で配置した「FS1」と「S0」のように、スラブの支持躯体が基本梁のみの場合選択します。
- ・「基本梁 + 下位梁」を選択すると、基本梁及 び下位梁として配置した躯体が表示されます。 スラブの支持躯体が下位梁を含んでいる場合 選択します。

ここに配置するスラブは3辺が基本梁、1辺 が上位梁で囲まれています。

(6) 配筋リスト「S0」と天端高さ「0」を選択し た状態で、それぞれの配置エリアをクリック します。

「S0」は、左図の断面図のように配置されます。

3. スラブに段差を配置します。



- まず、段差の配筋リストを作成します。
- (1) メニューより「段差」→「配置」ボタンを順
 にクリックします。
 段差の配置モードになります。
- (2) 段差配筋リスト一覧のメニューより「追加」
 ボタンをクリックします。
 段差配筋リスト入力画面が表示されます。





- (3) 段差のリスト名称を入力し、背面角度を設定します。
 ここでは、90度を選択します。
- (4) 段差の補強幅を設定します。「指定」をクリックし「300」を入力します。
- (5) 左図のように、補強筋情報を入力します。
- (6) 最後に、「登録」ボタンをクリックします。
 段差の配筋リストが登録され、リスト名一覧
 に追加されます。

■ 段差を配置します。

- (1) 平面図入力画面へ戻り、段差の配置位置に補 助線を描画します。
- (2) 配筋リストと天端高さを選択します。天端高さは、あらかじめ追加しておきます。







- (3) 左図の表示番号順に、通芯と補助線の交点を クリックします。
- (4) 最後に、右クリックメニューで「OK」を選択します。

段差が配置されます。

以上で、基礎階での入力作業は終了です。

STEP 3: 躯体入力 - 5 柱を入力します。

モデル作成編



汐 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 🌘	2 F→ 1 F H=3700	>			_	×
ファイル(<u>F)</u> 表示(⊻) 階移動(<u>M</u>) 階	コピー(<u>C</u>) 印刷(<u>P</u>)) 設定(<u>S</u>) へ	ルプ(<u>H)</u>			
#⊠ 台∣∽┖፬∥77	₩₽0#	I				
-2)to-						
D 1001						
ý.						



 メニューバーの「階移動」で、「上階」または「階 指定」を選択し、2Fのフロア面へ移動します。

> タイトルバーに「2F→1F H=3700」が表示 されていることを確認します。

> ※ 2Fのフロア面での作業内容は、【P17】及び【P27】をご参照ください。





間柱「1P2」を除き、1階の柱は基礎階と同じです。 配筋リスト及び躯体を基礎階からコピーします。

(2) まず、柱の配置モードにし配筋リストをコピー します。

【他階配筋リストのコピー方法】

① 配筋リスト入力画面を起動します。

 2 配筋リストー覧を右クリックし、「他からコ ピー」を選択します。
 リストコピー選択ウインドウが表示されます。



③ ページ選択一覧よりコピーするリストを選択 します。

ここでは、「Shift」キーを押し全て選択します。

複数階ある場合、階選択一覧より該当の階名 称を選択します。

「他現場からコピー」ボタンをクリックすると、 他現場の配筋リストをコピーすることが可能 です。

 ④ そのまま、右側の配筋リスト入力画面へドラッ グ&ドロップします。
 選択の配筋リストがコピーされます。

これで、基礎階の柱配筋リストがコピーされ ます。

(3) 次に、間柱「1P2」の配筋リストを入力します。入力方法は、基礎階の柱をご参照ください。

🎲 鉄之助建設 -	》 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築工事 2 F→1 F H=3700								
ファイル(<u>F)</u> 表示	(⊻) 階移動(<u>M</u>) 階コピー(<u>C</u>) €	[]] 刷(<u>P)</u> 設定(<u>S</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)						
ESC 🗠 🖓	ON OFF 🗖 🗇 🖉 🖉	口 🔶 計 🗙							
ሀスト									
Ů ₿ 💬									
C1 C2									
IP2	Ϋ́ς								
	8								
上 柱種類	2								
一般 背柱	Ş) I								



(4) 基礎階の柱躯体をコピーします。

【階コピー方法】

 平面図入力画面に戻り、メニューより「ESC」 ボタンをクリックします。
 メニューバーの「階コピー」メニューが選択 可能になります。

 ②「階コピー」をクリックし、「下階から」を選 択します。

ここでは「指定階から」→「1F」を選択して も構いません。





下階で配置した柱の躯体が参照表示されます。 まだコピーは確定されていません。

③ コピーする躯体をドラッグで指定します。
 ここでは、すべての柱をドラッグします。
 基礎階の柱がコピーされます。
 コピー配置の場合、柱の高さは階高と支持躯体によって自動調整されます。

※柱にかかわらず、階コピー時に該当の配筋 リストがない場合躯体のコピーができません。 先に配筋リストをコピー、または入力しなけ ればなりません。





- (5) 間柱「1P2」を配置します。
 - ・配置位置として、通芯 X2+4000 の位置に Y1 と交差する補助線を作成します。
 - ・配置方法は基礎階の柱と同じです。
 - ・柱種類で「間柱」を選択します。

この位置の間柱は、梁に定着します。

以上で、1 階の柱の配置は完了です。

STEP 3: 躯体入力 - 6 梁を入力します。







 (1) 梁の配置モードにし、階別配筋リスト入力画 面を起動します。
 「G1」・「G2」・「G3」の配筋リストを入力しま す。

「G1」・「G2」・「G3」は一般梁になります。

入力方法は基礎梁と同じです。【P56】をご参照ください。

_

X





- (2) 平面図入力画面に戻り、躯体を配置します。
 - 小梁「B1」と片持ち梁「CG1」を配置する際、
 補助線が必要です。
 - ・片持ち梁「CG1」の配置時に、基端・先端を 考慮する必要はありません。自動的に識別さ れます。

配置方法は基礎梁と同じです。【P64】をご参照ください。

STEP 3: 躯体入力 - 7 スラブを入力します。



境界線 ファイル(E) 表示(V) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) 🖪 🗅 🗆 두 ☜ ㄹ ㅋ 🗛 # 🦯 🖉 🖉 🛱 🕒 ESC 🗤 🖓 ON OFF 📄 🚍 🔄 描画纸 esc 🖊 🏠 💭 🔿 🕅 🙀 Y2-1200 2-1400 X2+1650--X2+3050 Y1 (iii) **F**

(1) スラブ入力モードにし、境界線を描画します。 片持ちスラブ CS1 及び階段周辺スラブを配置 するには、境界線が必要です。

【スラブ境界線の描画】

- ① メニューより 「境界線」→ 「配置」ボタンを クリックします。 境界線配置モードになります。
- (2) 左図のように階段周辺に補助線 X2+1650・
 X2+3050・Y2-1400・Y2-1200を描画しま す。
- 通芯と補助線の交点a・b・c・d・eを順にクリッ クします。
- ④ 右クリックメニューで、「OK」を選択します。 境界線が描画されます。

配置

ę

X31

36%

X

ХI

始点をクリックしてください。





片持ちスラブ側も、通芯と補助線 Y1-1200 の交点ア・イをクリックし境界線を描画しま す。

(2) スラブ配置モードにし、配筋リスト及び天端 高さを選択します。

> スラブの配筋リストは全階共通のため、1F のフロア面で入力した配筋リストが表示され ます。





(3) 下階でのスラブ入力と同様に、配置エリアを クリックします。

スラブが配置されます。





- (4) W20の配筋リストを入力します。
- リスト名称及び壁厚を入力します。
 壁厚は上部・下部とも「200」を入力します。
- 2 配筋設定欄では、「ダブル」配筋を選択します。
 これにより該当の計算値が設定されます。
- ③ W20は二種類の鉄筋を交互配筋しているため、「径2」を選択し入力します。

入力行2~6は、複数層の配筋時に入力します。



④ 計算値設定を行います。

- ・「計算値」ボタンをクリックし、計算値設定画 面を起動します。
- ・まず、「さし筋」タブをクリックし、「縦さし
 筋上部にフックをつける」にチェックを入れ ます。
- ・次に、「配筋」タブをクリックし、外側になる
 鉄筋を「横筋」にします。

(5) 同様に、W16 及び KW20 の配筋リストを入 力します。

KW20 は、縦筋を外側にします。

2. 壁の躯体を配置します。





壁の配置方法は梁と基本同じです。

【連続線モードで一括配置】

まず、外壁①~④(左図)を連続線モードで一括配 置します。

- (1) 描画線で「連続線」と「直線」を選択します。
- (2) 配筋リスト一覧で「W20」、形状一覧で「一般」を選択します。
- (3) 通芯の交点①~④または④~①を番号順にク リックし、最後に右クリックメニューで「OK」
 を選択します。
 躯体の芯ずれ設定モードになります。

左図のように、複数の躯体を連続して配置す ると、柱が自動的に識別されます。

各躯体の芯ずれ寸法が異なる場合、それぞれ 設定します。

ここでは、芯ずれ設定の必要はありません。



(4) 任意の躯体の「連動」ボタンをクリックし、
 「OK」ボタンをクリックします。
 壁の配置が確定されます。

※「連動」ボタンをクリックすると、すべて の躯体を一括操作できます。

※「OK」ボタンは、必ず選択した「連動」ボ タンと同じ躯体でなければなりません。 ※複数躯体の連続配置は、梁においても同じ です。

- (5) 同様に、左図の表示番号順に通芯と補助線の
 交点をクリックし W20 を配置します。
 ここでは、「連動」ボタンをクリックせずに、
 それぞれの芯ずれ設定を行います。
- (6) 次に、階段壁 KW20 を配置します。

一般壁の高さは、上下階の梁またはスラブによって 自動的に決まります。





形状

訪

(7) 続いて、Y1 通りの腰壁を配置します。

【腰壁の配置】

- 1 形状一覧ウインドウのメニューより「追加」
 ボタンをクリックします。
 壁形状リスト作成画面が表示されます。
- ② 名称欄にリスト符号を入力します。
- ③ 三番目の腰壁形状を選択します。
- ④ 下階の FL から壁上端の高さを入力します。ここでは「1250」を入力します。
- ⑤「登録」ボタンをクリックします。
- ⑥ 形状リスト作成画面を閉じ、壁の配置画面に 戻ります。
 形状リスト一覧に「腰壁 1250」が追加され ます。





⑦ 配筋リストより「W20」、形状リストより「腰
 壁 1250」を選択し、一般壁と同じ手順で配置します。

W20 が腰壁として配置されます。

3. 開口を配置します。





ここでは、Y2 通りの開口を例に説明します。

(1) メニューより「開口」→「配置」ボタンをクリックします。
 開口の配置モードになります。

(2) リスト一覧ウインドウのメニューより「追加」
 をクリックします。
 矩形開口リスト作成画面が表示されます。

- (3) リスト名称を入力し、開口の縦・横寸法を入 力します。
- (4) 開ロリストを登録し、平面図入力画面に戻り ます。

胶 鉄之助建設 - 鉄太郎邸 新築:	工事 2F→1FH=370	00				—		×
ファイル(<u>F)</u> 表示(<u>V)</u> 階移動(<u>M</u>)	階コピー(<u>C</u>) 印刷	(<u>P)</u> 設定(<u>S</u>)	ヘルプ(<u>H)</u>					
ESC いつ つき 0 開ロリスト								
第月17日 第二日 第	名称		形状	選択				
🗀 🗈 😁	形状							
短形 - 変形 -]						
開口下端								
0								
					キャンカル			
	回形たわけっわして/ポキハン				112 00			
		,						
				□ 登録	元に戻す	閉じる		
開口始点をクリック	最大20文字				PageUp前頁/PageD	own次頁	31%	



【便利な機能】

矩形以外の開口を配置する場合、リスト一覧の「変 形」項目をクリックし、「追加」ボタンをクリック すると、色々な形状の開口を作成できます。

 (5) 通芯 X1+1100、X1+1100+1800 の位置に 補助線を描画します。
 開口起点位置になります。
 開口リスト「800*1600」を選択し、開口下端高さを選択します。
 開口下端高さは右クリックメニューよりあら かじめ登録しておきます。




- (6) 壁の躯体上で、補助線 X1+1100 をクリック します。
- (7) 開口方向側で、再度クリックします。X1+1100 を起点に開口が配置されます。

(8) 同じく、補助線 X1+1100+1800 の位置で壁をクリックし隣の開口を配置します。





(9) 同じ手順で、1 階の残りの開口を全て配置し ます。

4. スリットを配置します。



(1) メニューより「スリット」→「垂直スリット」
 ボタンをクリックします。
 垂直スリットの配置モードになります。

(2) リスト一覧ウインドウのメニューより「追加」
 ボタンをクリックします。
 スリットのリスト作成画面が表示されます。

- (3) 名称を入力し、スリット種類を指定します。
 3種類のスリットを指定できます。No欄に
 スリット種類番号を入力します。
- (4) 左図のように必要項目を入力し、リストを登録します。



(5) 平面図入力画面に戻り、リストを選択します。

(6) スリットを配置する壁をドラッグで指定します。

 垂直スリットが配置されます。

(7) メニューより「水平スリット」を選択し、同じく壁をドラッグで指定します。

水平スリットの場合、配置位置を指定します。 ここでは、初期値のまま「下」のみにします。

開口スリット・垂直スリット・水平スリットの配筋リストは共通です。



3D で確認すると、スリットはピンク色のラインで 表示されます。

※壁は立面編集が可能です。壁の変形以外に開口・ スリットの配置も可能です。操作方法は、2階の壁 【P139】をご参照ください。

STEP 3: 躯体入力 - 9 階段を入力します。



■ 段を入力します。



平面図入力画面のメニューより「階段」を選択しま す。階段入力モードになります。

階段は、段・踊り場・手すりに分けて入力します。 それぞれの配筋リストを入力してから躯体配置を行 います。

(1) メニューより「段」→「配置」→リストの「追加」ボタンをクリックし、段の配筋リスト入力画面を起動します。



計算値:段							
	維手 鉄筋長 鉄筋	配置 定着					
		定着長	ニゲ	最低アンカ長	先端形状		
	段ばな筋	35 d	60 mm	100 mm			
	段押さえ筋	35 d	60 mm	100 mm			
<u> </u>	段ばな受け筋	35 d					
	いなずま筋上部	35 d					
	いなずま筋下部	35 d					
	下端筋上部	35 d					
	下端筋下部	35 d					
他ベージへ反映					□ 現場初期値(C設定)	元に戻す	閉じる
0~9999(mm) 0~99(d)							

- (2) まず、「K1400」の配筋リストを入力します。
 - 段リストの名称を入力します。
 - スラブ厚と幅を入力します。
 - ③ 鉄筋情報を入力します。
 - ・段ばな筋の入力欄①②③は、踏み面の先から 順に対応しています。

段ばな筋が1本の場合、①の欄に入力します。

・ 段押さえ筋と下端筋はそれぞれの入力行に対応しています。

1本ずつ配筋する場合、左図のように二行目 に入力します。

④ 計算値を設定します。

- 「計算値」ボタンをクリックし、「定着」タブ
 をクリックします。
- ・各鉄筋の定着長を「35d」に変更します。
- ・段ばな筋と段押さえ筋の先端形状は無しに変 更します。
- ⑤ 段リスト入力画面に戻り、「登録」ボタンをク リックします。
 - 「K1400」が登録されます。



(3) 続いて、「K1250」の配筋リストを入力します。
 「K1250」は「K1400」の配筋リストをコピーし、幅のみ変更します。

【同階配筋リストのコピー方法】

- ① リスト名称一覧の「新規作成」を選択します。
- ② リスト名称一覧よりコピーする配筋リストの
 名称を選択します。
 ここでは「K1400」を選択します。
- ③ そのまま配筋リスト入力エリアヘドラッグ&
 ドロップします。

「K1400」の配筋情報がコピーされます。 階段幅を「1250」に変更し登録します。







- (4) 平面図入力画面に戻り、段を配置します。
 - ① 左図のように必要補助線を作成します。
 - ② リストー覧より「K1400」を選択します。
 - ③ 補助線 X2+1650+700 上の始点と終点をク リックします。

段データ入力画面が表示されます。

- ④ 段の始点側と終点側の高さを入力します。
 始点側は1FLの高さ「-3700」、終点側は1
 FLと2FLの中間高さ「-1850」を入力します。
- ⑤ 段数欄に「10」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

芯ずれ設定モードになります。ここでは、芯 ずれ設定は必要ありません。

⑥ そのまま「OK」ボタンをクリックします。段の配置が確定されます。





 ⑦ 同様に、補助線 X2+825 上の始点と終点をク リックし「K1250」を配置します。
 段データ入力で、始点側を「-1850」、終点側 を 2 FL の高さ「0」にします。





段は壁と梁に自動定着されます。

以上で、段の配置は完了です。

踊り場を入力します。 踊り場 配置 於 鉄之助建設-鉄太郎邸 新築工事 2F→1FH=3700 \times ファイル(E) 表示(V) 階移動(M) 階コピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) 🚰 ESC 🗤 🖙 ON OFF 🧬 💾 🖉 🖉 🖉 🖉 🔛 🕁 🗙 # 画 狼 ESC / C C A OK SEL V20 E Ö 🗈 😁 хз 始点をクリックしてください。 17\$

踊り場リスト:鉄之助建設-鉄太	郎郎 新築工	亊 - 全階共	通								
〈新規作成〉	名称 スラブ厚		150 mm	踊場							
				主筋					đ	力筋	
		径1	材質	径2	材質	ピッチ	径1	材質	径2	材質	ピッチ
	上筋	D10	SD295A			200	D10	SD295A			20
	下筋	D10	SD295A			200	D10	SD295A			20
	計算値										
	■定着 ●カブル 1上 2.下 ●段部 1上	, 30mm , 30mm)分定着)筋. 定着長	40d								
									登録	元に戻	ぼす 閉じる
	入力内容を愛	≷禄/上書	きします。							PageUp前頁.	/PageDown次頁

(1) メニューより「踊り場」→「配置」→リストの「追加」ボタンをクリックします。

- (2) 踊り場の配筋リストを入力します。
- ① リストの名称を入力します。
- ② スラブ厚を入力します。
- ③ 主筋及び配力筋の配筋情報を入力します。

「径2」は異なる鉄筋の交互配筋時のみ入力し ます。



④ 計算値を設定します。

「計算値」ボタンをクリックし、固定端の上筋 の定着長を「35d」、下筋の定着長を「25d」、 に変更します。

⑤ 配筋リスト入力画面に戻り、「登録」ボタンを
 クリックします。
 踊り場の配筋リストが登録されます。





(3) 踊り場を配置します。

① 必要補助線を作成します。

- 2 踊り場リストと上端高さを選択します。
 上端高さ「-1850」を、あらかじめ追加しておきます。
- ③ 補助線の交点 a・b・c・d を順にクリックし、 最後に右クリックメニューで「OK」をクリッ クします。

踊り場が配置されます。

■ 手すりを入力します。



(1) メニューより「手すり」→「配置」→リストの「追加」ボタンをクリックします。



- (2) 手すりの配筋リストを入力します。
- ① 配筋リストの名称を入力します。
- 2 配筋方法及び壁厚を設定します。
 配筋方法は「シングル」を選択します。
- ③ 縦・横の鉄筋情報を入力します。
 「径2」は異なる鉄筋の交互配筋時のみ入力します。
- ④ 補強筋を入力します。



- ⑤ 計算値を設定します。
 「計算値」ボタンをクリックし、横筋と縦筋の
 定着を「35 d」に設定します。
- ⑥ 配筋リスト入力画面に戻り、「登録」ボタンを クリックします。





- (3) 手すりを配置します。
- 手すりリストと手すり高さを選択します。
 手すり高さは、あらかじめ追加しておきます。
- ② 補助線 X2+3050 上の始点(K1400 の開始点)
 と終点(踊り場と外壁の交点)をクリックし、
 右クリックメニューで「OK」を選択します。

接触する段と踊り場が自動感知されます。

- ③ 手すりの右側の芯ずれ寸法から「O」を選択 します。
- ④「OK」ボタンをクリックします。手すりの配置が確定されます。





以上で、手すりの配置は完了です。

STEP 3: 躯体入力 - 10 勾配面を作成します。





 メニューバーの「階移動」で、「上階」または「階 指定」を選択し、RFのフロア面へ移動します。
 タイトルバーに「RF→2F H=3800」が表示 されていることを確認します。

※ RFのフロア面での作業内容は、【P17】及び【P27】をご参照ください。

(2) メインメニューより「勾配」を選択します。 勾配入力モードになります。

X





(3) メニューより「片流れ」を選択し、リストー覧ウインドウの「追加」ボタンをクリックします。

片流れの勾配リスト作成画面が表示されます。

- (4) 勾配名称を入力し、頂点の高さを入力します。
 ここでは、頂点の高さがフロア面と同じなので「FL+0」になります。
- (5) 勾配の比率を入力します。
- (6) 「登録」ボタンをクリックし、平面図入力画面 に戻ります。



勾配面調整ボタン



(7) リストを選択し、勾配の基準線を描画します。
 基準線は勾配の頂点になります。
 頂点位置通芯 X2 上で、基準線の始点と終点
 をクリックし、右クリックメニューで「OK」
 をクリックします。

基準線を一辺とする仮勾配面が表示されます。

(8) 勾配方向と勾配面の長さを調整します。
 基準線向かい側の赤色の□勾配面調整ボタン
 をクリックし通芯 X1-100 の位置へ移動させます。



勾配を選択して基準線を描画してください。



(9) 最後に「OK」ボタンをクリックします。 勾配面が確定され緑色の境界線で表示されま す。

> 3D で確認すると、青色のフィルムで表示さ れます。

> ここで作成した勾配面は、後に配置する柱・梁・ スラブに適用させます。



RFL

(1) メインメニューより、「柱」を選択し、柱入力 モードにします。

- (2) 配筋リスト作成画面を起動し、配筋リストを 作成します。
 - まず、柱 C1・C2 の配筋リストを下階からコ ピーします。

他階配筋リストのコピー方法は、【P88】をご 参照ください。



② 計算値の変更を行います。

この階では、柱の四隅主筋のみフックをつけ ます。

【変更手順】

- a. C1・C2 のそれぞれの配筋リスト画面で「計 算値」ボタンをクリックします。計算値設 定画面を起動します。
- b.「全般」タブで最上階アンカ・フックを「隅 の鉄筋のみフック」に変更します。
- c. 配筋入力画面に戻り「登録」ボタンをクリッ クすると計算値設定の変更内容が保存され ます。

③ 次に、柱 C1A の配筋リストを入力します。

- ・同じく、計算値で最上階アンカ・フックを「隅の鉄筋のみフック」に設定します。
- ・ 仕口部入力では、ほかの柱と同様にフープ筋 を一般部と同径・同ピッチ、溶接9番に設定 します。





(3) 柱の躯体を配置します。

配置方法は【P52】をご参照ください。

通芯 X1・X3 の柱のように、配筋リスト及び 配置位置が下階と同じの場合、階コピーを行 うと作業効率がアップします。

階コピー方法は【P90】ご参照ください。





- (4) 通芯 X1・X2 の柱に勾配を設定します。
 ここでは、あらかじめ作成しておいた勾配面を適用させます。
- ① メニューより「高低」→「天端」を選択します。
- ② 天端高さ一覧より「勾配密着」を選択します。
- ③ マウスで通芯 X1・X2 の柱をドラッグします。
- ④ 柱を覆う勾配が適用されます。

※ 柱にかかわらず、勾配設定時には躯体を 覆う勾配面が必要です。



STEP 3: 躯体入力 - 12 梁を入力します。



汐 鉄之助建設 -	鉄太郎邸 新築工業	事 RF→2FH=3800				_	×
ファイル(<u>F</u>) 表示	(<u>∨</u>) 階移動(<u>M</u>)	階コピー(<u>C</u>) 印刷(<u>P</u>)	設定(<u>S</u>) ヘルプ((<u>H</u>)			
ESC KA AN	ON OFF	50000	81000	É ⇔ 🛱	 X 		
全階共通	RF	描画線					
'n 🗈 😁	b 🗈 😁	esc 📝 🐴 🖊 🔿	C A OK SA	N			
大梁	大梁						
	-						
小边	小沙						
片持大梁 片持大梁	片持大梁 片持小梁						
壁構造	壁構造		<u>← -1</u>				
天端高さ							
勾配密着 -185	ų́i₊						
0							





(1) メインメニューより「梁」を選択し、梁入力モー ドにします。

(2) 2階の梁は、小梁と片持ち梁を除き配筋リスト及び配置位置が1階と同じですので、1階からコピーします。

コピー手順は、柱と同じです。

① まず、配筋リストをコピーします。

コピー方法は【P88】をご参照ください。





② 次に、躯体の階コピーを行います。

階コピー方法は【P90】をご参照ください。

下階の小梁と片持ち梁が参照表示されますが コピーしません。

※ コピー時に、参照表示で通芯 X2 の柱 C1A と 1 階の C1 の断面寸法が異なるため柱 と梁に隙間ができますが、コピー確定により 梁の長さが自動的に再計算されます。





(3) 左スパン側の梁に勾配を設定します。

ここでは、柱と同じ勾配面を適用させます。

- ① メニューより「天端高さ」ボタンを選択します。
- ② 天端高さ一覧より「勾配密着」を選択します。
- ③ マウスで X1 ~ X2 のスパン側の梁をドラッ グします。
- ④ 梁を覆う勾配が適用されます。

※梁は躯体配置時に、天端高さ指定で「勾配 密着」が選択可能です。

STEP 3: 躯体入力 - 10 スラブを入力します。





(1) メインメニューに戻り、「スラブ」を選択し、一般スラブの配置モードにします。

(2) 配筋リスト一覧より「S1」を選択します。

(3) 天端高さ一覧より「勾配密着」を選択します。





(4) 左側のスラブ配置エリアをクリックします。勾配設定されたスラブが配置されます。

(5) 続いて、天端高さ一覧で「0」を選択し右側のスラブ配置エリアをクリックします。
 天端高さ FL ± 0のスラブが配置されます。

STEP 3: 躯体入力 - 19 壁を入力します。







1階同様に、外壁を配置してから開口とスリットを 配置します。

> 壁は自動的に周辺躯体の状況(例えば梁の勾 配)を認識し配置されます。

躯体の配置方法は【P101】を、

開口の配置方法は【P105】を、

スリットの配置方法は【P109】をご参照くだ さい。

X2 通りの垂れ壁は、1 階の腰壁のように壁形状リ ストで垂れ壁を追加して配置することも可能です が、ここでは立面編集で垂れ壁を作成します。

【壁の立面編集】

(1) 一般壁と同じように X2 通りに「W16」を配置します。



(2) メニューより「立面編集」を選択し、「W16」 をクリックします。

W16の立面編集画面へ移動します。



Shift キー + 右ドラッグで 3 D 表示モードに し、メニューより「周辺躯体表示」をクリッ クすると、壁と周辺躯体が確認できます。

(3) 「立面正視ツール」をクリックします。







(4) メニューより「本体」→「変形」ボタンをクリックします。
 壁本体の四隅頂点にオレンジ色の変形点が表示されます。

変形点は、右クリックすると削除できます。 また、壁の辺を右クリックし追加することも できます。

(5) ここでは、左図のように頂点a・bを移動して垂れ壁にします。
 あらかじめ、垂れ壁の高さ位置に補助線を作成しておきます。

(6) 最後に、メニューより「OK」ボタンをクリックします。
 壁の変形が確定されます。
- アナルビ 表示(Y) 階移動(M) 階ピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H)

 ESC O ON OFF
 P = E

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
 P

 P
- (7) メニューより「ESC」をクリックし、壁の平 面図入力画面に戻ります。
 Shift キー + 右ドラッグで垂れ壁が確認でき ます。







(1) 最初に、名称を入力します。ここで入力した名称は断面リストー覧に表示 されます。

 (2) メニューより「断面形状」をクリックし、「作 成」を選択します。
 形状描画モードになります。





(3) 図面を参考に必要な補助線を描画します。

- (4) 基準点①を始点とし補助線の交点⑥まで、順 にクリックしていきます。
- (5) 最後に右クリックし、メニューより「OK」を 選択します。

断面形状が作成され、メニューに「鉄筋」項 目が追加されます。

3. 鉄筋を入力します。



メニューより「鉄筋」ボタンをクリックします。鉄筋入力モードになります。

鉄筋は、線形鉄筋と点鉄筋を分けて入力します。



メニューより「線形」をクリックし、「追加」
 を選択します。
 線形鉄筋入力モードになります。



- (2) まず、縦筋を描画します。
 - 径・ピッチ・配筋開始位置・カブリ補助線を 選択します。
 カブリ補助線が表示されます。
 - ② 描画線は、「直線」を選択します。
 Shift キーを押しながら、カブリ補助線上の始点・終点をクリックします。

終点の位置は、定着長設定を考慮し躯体形状 からはみ出した所にします。

3 右クリックメニューで「OK」を選択します。
 線形鉄筋が描画されます。

※水平線と垂直線を描画する場合、Shift キーを押しながらマウスを動かします。





- (3) 縦筋に定着長を設定します。
 - ① メニューより、「定着長」を選択します。
 - ② 屈曲カブリ・定着長を選択します。

該当の屈曲カブリ・定着長がない場合、一覧 を右クリックし追加します。

③ 躯体形状からはみ出した縦筋端部をドラッグします。
 指定長さで定着が設定されます。

-149-





(4) 縦筋と同じ方法で、補助線の交点①~⑥を順にクリックしL形補強筋を描画します。

ピッチと配筋開始位置を調整すると、異なる 鉄筋の交互配筋が可能です。

以上で線形鉄筋の描画が終了しました。



(5) 線鉄筋の名称を設定します。
 名称設定を行うと、鉄筋3D編集画面で鉄筋
 名称ごとの表示 / 非表示が可能になります。
 また、鉄筋加工帳では鉄筋名称ごとに表示されます。

設定方法:

- ① 鉄筋名称一覧より鉄筋名称を選択します。
- ② マウスを鉄筋に近づけます。未設定の場合は「???」と表示されます。
- 3 そのまま鉄筋をクリックすると、鉄筋名称が 設定されます。

マウスドラッグで、鉄筋名称を設定することもできます。



システム定義に、鉄筋名称が登録されていな い場合、ユーザー定義で追加登録を行います。

【鉄筋名称の追加登録】

「ユーザー定義」ボタンをクリックします。

ユーザー定義一覧を右クリックしメニューより「編集」を選択します。
 鉄筋名称登録ウィンドウが表示されます。

③ 空白の名称欄をダブルクリックします。





- ④ 鉄筋名称「L 形補強筋」と入力し、Enter キー で確定します。
- ⑤「OK」ボタンをクリックします。
- ⑥ 鉄筋名称一覧に追加した鉄筋名称が表示されます。

縦筋同様、「L 形補強筋」鉄筋名称を設定します。



■ 点鉄筋の入力

- (1) まず、コーナーの補強筋を入力します。
- メニューより「点」をクリックし、「追加」を 選択します。 点鉄筋の追加モードになります。
- ② 径を選択します。
- ③ ピンク色の補強筋位置をクリックします。
 コーナー補強筋が追加されます。
- (2) 横筋を入力します。
 - メニューより「ピッチ」を選択します。
 点鉄筋のピッチ追加モードになります。
 - 径と、ピッチまたは本数を選択します。
 ここでは本数で指定します。
 - ピンク色の始点位置にマウスを移動させク リックします。
 - ④ Shift キーを押しながら、マウスを終点位置に
 移動させクリックします。
 - ⑤ 右クリックメニューで「OK」を選択します。
 横筋が描画されます。





同じ操作方法で内側の横筋(黄色表示)を入 力します。

- (3) 一部の横筋の鉄筋径を「D13」に変更します。
- メニューより「径変更」ボタンをクリックします。
- ② 径一覧より「D13」を選択します。
- ③ 変更する横筋をマウスドラッグします。
 D13 に変更されます。

(4) 点鉄筋の名称を設定します。 設定方法は線形鉄筋と同じです。





Shift キー + 右ドラッグすると3D で配筋を確認す ることができます。

【便利な機能】

鉄筋にマウスを近づけると、鉄筋名称・径・材質・ピッ チ・開始位置など詳細情報を確認することができま す。



- メニューより「ESC」または「メインメニュー に戻る」をクリックし、鉄筋入力モードを終 了します。
- (2)「登録」をクリックします。断面リスト一覧に名称が表示されます。
- (3) 「閉じる」をクリックし、平面図入力画面へ戻ります。

5. 躯体を配置します。

作成した躯体断面を平面図入力画面で配置します。



- (1) 断面リスト一覧より名称を選択します。
- (2) 描画線は「直線」を選択します。
- (3) パラペットの躯体面が梁面に揃うように、①~④を順にクリックします。

柱と梁を参照部材として、梁を表示部材とし て選択すると各躯体の形状線が補助線として 表示されますので、描画しやすくなります。





(4) 右クリックメニューで「OK」を選択します。位置調整ツールが表示されます。

-159-

モデル作成編





- (5) 3D表示に切替え(Shift キー + 右ドラッグ)
 確認します。
 - 上下左右の緑色の矢印、または数値をクリッ クすると位置調整が可能です。
- (6) ここでは、そのまま「OK」ボタンをクリックします。

パラペットが配置されます。

以上でパラペットの入力は完了です。

STEP 4:自動積算

- フロンエジドルロ457 現境	潘号	現場名称	重量 Kg	地業 躯体				
213	表示現	場 総 合 計	0			鉄筋加	1工帳一覧	
en 新	規登録			IZ	階	部位	表示名称	ju j
	090005 🔆 鉄太郎郡 新師	現場編集				n :	所規作成	
		平面図編集						
		自動積算						
		現場コピー						
		たかいわり	-					
		477670						
得音先 久称								
1112010-011								
2								
2								

- (1) 平面図入力画面を終了し、システムのメイン 画面に戻ります。
- (2) 現場一覧より現場名を選択し、右クリックメ
 ニューで「自動積算」をクリックします。
 自動積算設定画面が表示されます。



2												
現場番号	現場名称	重量 Ke	地業	躯体								
	表示現場総合計	19,195				i	鉄筋加工帳-	一覧				
▲ 新規登録		10.105		X	階	部位		表示名称			重量 Ke	^
S 18000000	/ 跃入邸邸 新築工争	19,195					1 新規作	成				
						^ "7	🔁 X1,Y2(F1) X2,Y2(F	1) X2,Y1(F 1)	968	
						~~~	🔁 X3,Y1(	F2) X3,Y2(F	2)		227	
					基礎		☑ 基礎>	(1+224,Y1(C	1) X1+22	4,Y2	314	
						柱	▲ 茶礎 >	(2,Y2(C1)			1/9	
							☑ 奎啶 /	(2, 11(01) (3–225 Y2(C)	2) ×3-22	4 Y1	437	
							1F X1	+224,Y1(C1)	X1+224,	Y2(C	606	
							🔁 1F X2	Y2(C1)			309	
						柱	💋 1F X2	Y1(C1)			309	
							1F X3	-225,Y2(C2)	X3-224,`	Y1(C	797	
							1F X3	-3999,Y1-14	-9(1P2)		173	
					1F		▲ ×1+5	9,11-124(FG 9 Y2(FG1)	10		714	
	the second se	加工帳	to T 45 23	<b>B</b> . 100	1150004(1/11/12		<ol> <li>vi vi(ci)¹.</li> </ol>	- VI -		Bits -		
Contraction of the second		加工帳情	報	号。[190] 場: [180]	150004(X1,72 90005:鉄太郎8	80-1)X2,420-1)X2,410 耶 新築工事	- D X LY 10- D2-	16.		部位:	Etiz ベース	
		No 1 ×1	名称 _Y2(F1) X2_Y2(F	径 1) X2,Y	材質 (F1) X1,Y1(F	形状 1) ⁶³²	领寸	本数 箇所	合計 67.840	定尺 割	数 本数 71.68	e î l
		腹	前	D13	D295A		2130	8 4	32	4500	2 1	6
		2	かま筋 縦1			1660			163.680		175.12	0
		3	10 OK 11/1 444 1	D13 3	GD 2 95 A	229	3740	11 4	44	4000	1 4	4
		la	かま筋 横1	D12	D2054	858	2740	11 4		4000	1 4	
		4	_ ~~		13	229 35 <mark>f) f</mark>	1		265.320	4000	272.80	0
			一人的統旧	D19	380 380 380	1660	2680	11 4	44	5500	2 2	2
			ース筋 横1	D19 :	13 380 381	0 1660	2680	11 4	44	5500	2 2:	2
平面図入	力画面「立体景観」	羅集機構	能 まとめ機能	定尺機	能能行印	1월] 6(1월) :	接続情報 加工(	概設定 削除	+120	Л	変更	Ĵ

(6) 積算終了を確認し、システムのメイン画面へ 戻ります。

> 鉄筋データ及び加工帳データが生成され、集 計、3D鉄筋編集、施工図及び鉄筋加工帳の 編集印刷が可能になります。

> 自動生成されたデータで集計を行う場合は、
>  「STEP5:集計」へ、
>  鉄筋編集を行う場合は「STEP6:鉄筋編集及
>  び施工図・加工帳出力」へお進みください。

本システムは自動積算のほか、平面図入力画 面で各部材の「鉄筋」メニューより躯体を選 択しながら個別計算を行うこともできます。

# STEP 5:集計 モデル 炒 鉄之助ソリッドプロ版 Ver1.7.11.4 メインメニュー 集計メニュー マスターメンテナンス 乍 地業 躯体 鋼材 成 重量集計 鉄筋本数・箇所数集計 定着板筒所数集計 型枠面積・コンクリート体積集計 数量明細集計 内訳明細集計 内訳明細集計 内訳明細集計 編 メーカー別数量明細集計 内訳明細集計 数量明細集計 全鉄筋明細 一般鉄筋明細 _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _

_ _ _ _ _

----

キャンセル

メイン画面の「集計メニュー」タブをクリックする と、集計内容を自由に設定し、様々な帳票の出力が 可能です。

ここでは、主に使われる数量明細集計と内訳明細集 計について説明します。

## ■ 数量明細集計

(1) 集計メニュー画面の「躯体」タブをクリックし、
 「数量明細集計」ボタンをクリックします。
 帳票一覧が表示されます。
 「全鉄筋明細」及び「一般鉄筋明細」はシステムの既存帳票です。
 名称未定の空白のボタンをクリックすると、
 自由に集計条件を設定し追加することができます。

(2) ここでは「全鉄筋明細」をクリックします。集計条件設定画面が表示されます。

── 集計条件ロック	,						
★     単純量計       ●     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ プロジェクト □ 読之助建設 □ 得意先 □ 得意先2	<ul> <li>IC</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>C</li> <li>C</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>C</li> <li>C</li> <li>A</li> <li>A</li></ul>	楼 D6 D10 D13 D22 D25 D25 D35 D35 D35 D35 D35 D35 D35 D3		授列     □通常为正     正     注張性     □通常为正     正     注張性     □差報     □元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元     元	<ul> <li>会称1</li> <li>会ない</li> <li>会ない</li> <li>システム定義</li> <li>主務</li> <li>王務</li> <li>王務</li> <li>王務</li> <li>王務</li> <li>王務</li> <li>上務 王務</li> <li>二倍 五約</li> <li>中のマックマック</li> <li>ワックマックマック</li> <li>「空白、カ</li> <li>(空白)</li> <li>(空白)</li> <li>(空白)</li> </ul>	*
						キャンセル 3	製計実行

	D10 (SD2)	95A)		D13 (SD28	95A)		D16 (SD25	35A)		D19 (SD3	345)		D22 (SD3	45)		D25 (SD3	45)
長さ	本数	重量	長さ	本数	重量	長さ	本数	重量	長さ	本数	重量	長さ	本数	重量	長さ	本数	重量
3.5	213	417.480	3.5	357	1,242.360	3.5	10	54.600	3.5			3.5	36	381.600	3.5	19	264.1
4.0	158	353.920	4.0	525	2,089.500	4.0	2	12.480	4.0			4.0	6	73.200	4.0	52	826.8
4.5	299	753.480	4.5	297	1,330.560	4.5	4	28.080	4.5			4.5	6	82.200	4.5		
5.0	188	526.400	5.0	3 40	1,693.200	5.0	8	62.400	5.0			5.0	6	91.200	5.0	23	457.7
5.5	113	348.040	5.5	158	864.260	5.5			5.5	44	545.600	5.5	20	334.000	5.5	1	21.9
6.0	1 49	500.640	6.0	101	602.970	6.0	1	9.360	6.0	6	81.000	6.0	38	691.600	6.0	13	310.70
6.5	104	378.560	6.5	65	420.550	6.5			6.5			6.5	51	1,009.800	6.5	5	129.50
7.0			7.0			7.0			7.0			7.0	8	170.400	7.0		
7.5			7.5			7.5			7.5			7.5	8	182.400	7.5		
8.0			8.0			8.0			8.0			8.0			8.0		
8.5			8.5			8.5			8.5			8.5	2	51.600	8.5		
9.0			9.0			9.0			9.0			9.0			9.0	1	35.80
9.5			9.5			9.5			9.5			9.5			9.5		
10.0			10.0			10.0			10.0			10.0			10.0		
10.5			10.5			10.5			10.5			10.5			10.5		
11.0			11.0			11.0			11.0			11.0			11.0		
11.5			11.5			11.5			11.5			11.5			11.5		
12.0			12.0			12.0			12.0			12.0			12.0		
定尺外			定尺外		226.300	定尺外			定尺外			定尺外			定尺外		
合計		3,278.520	合計		8,469.700	合計		166.920	合計		626.600	合計		3,068.000	合計		2,046.50
切重		3,087.763	切重		7,967.236	切重		160.100	切重		609.240	切重		2,936.220	切重		1,964.06
< .																	
•																	

「全鉄筋明細」の場合、集計条件設定エリアがロッ クされた状態で表示されます。

画面左上の「集計条件ロック」アイコンをクリック すると解除され、帳票タイトルの編集と条件設定が 可能になります。編集された帳票タイトルは帳票一 覧のボタンに反映されます。

ここでは集計条件を設定しません。

- (3) 集計する現場名を選択します。
  - ※集計条件設定画面で何も選択しない場合、 全ての現場と鉄筋が集計対象になります。
- (4)「集計実行」ボタンをクリックします。数量明細が表示されます。
- (5)「印刷」ボタンをクリックします。数量明細が印刷されます。

・「□切重量を表示する」のチェックを外すと、 切重量が非表示になります。

・「Excel」ボタンをクリックすると、Excel での出力が可能です



内	訳明細集計
	全鉄筋明細
	一般鉄筋明細
	溶接閉鎖明細
	スパイラル明細
	溶接明細
ſ	キャンセル

内訳明細集計							
<ul> <li>● 標果タイトル: 全鉄苑明細</li> <li>194</li> <li>● 10000005: 訪大即診 新発工事</li> <li>● 10070002: 訪之即納死センター</li> <li>● 10070002: 訪之即納死センター</li> </ul>	□ ジロジェクト □ 鉄之助建設 □ 得意先 □ 得意先2	T⊠     ((葉B)) ▲     ((葉B)) ▲     ((ight)) ▲	12           D40           D10           D13           D14           D22           D25           D35           D35	□     □     3500       □     3500       □     5500       □     5500       □     6500       □     7500       □     7500       □     8500       □     9500       □     10500       □     11500       □     11200       □     126.03       □     126.03	村賀    SPC295A    SPC295B    SC245    SC390    SPC295    KS5785    JH785    JH785    JH785    JH785    JH785	<ul> <li>2010</li> <li>2011</li> <li>2011</li></ul>	<ul> <li>名称1</li> <li>会な</li> <li>会な</li> <li>システム定義</li> <li>王筋1</li> <li>王筋2</li> <li>王筋2</li> <li>王筋3</li> <li>上筋主筋</li> <li>レ筋主筋</li> <li>レボ4線防</li> <li>・</li> <li>・</li></ul>

## ■ 内訳明細集計

(1) 集計メニューから、「内訳明細集計」ボタンを クリックします。

帳票一覧が表示されます。

システムにいくつかの帳票が用意されていま す。

数量明細と同様に、名称未定の空白のボタン をクリックすると、自由に集計条件を設定し 追加することができます。

- (2) ここでは「全鉄筋明細」をクリックします。
   集計条件設定画面が表示されます。
   集計条件設定画面の操作方法は数量明細と同じです。
- (3) 現場名を選択し、「集計実行」ボタンをクリックします。
   選択現場の鉄筋内訳明細が表示されます。

内訳明細は鉄筋の重量集計になります。



「重量表示切替」で、定尺重量及び切重量の表 示・非表示設定が可能です。

「明細切替再集計」ボタンをクリックすると、 明細の書式選択画面が表示され書式を変更す ることができます。

「明細書式設定」ボタンをクリックすると、内 訳明細書式メンテナンス画面が表示され、書 式の追加・変更ができます。

失之助建設	フロンエクト名称	p	現場番	~	->6-			Kg		401+				
	<u>~</u>		新規3	登録	表示現場総	合 計		19,195		TIV	855	部(寸	法筋加工帳一覧 事干々な	重
			18090	1005 鉄水	1865年 新築工事			19,195			基礎	柱	2         2         3         2         3         2         4         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1	K(
												大梁	X1+         この階の平面図を開く           X1+         この階の平面図を開く           X3-         数量明細表示           X4+         和工作与教表示	
<b>}意</b> 先2	得意先名称											大梁ふかし 小梁	Z へい 加工帳復数表示     Xi+     X2+     X2+	
												スラブ	×1+ キャンセル ×1+299,Y2−1699(S0) ×1+299,Y2−1699(S0) ×2−200,Y2−1999(S0)	
													X1 X1 X1+325(W20)	
ē明細 現場名:: 昏暈 2	·鉄太郎邸 7.398.81	新築工事 NKg (2,300	.990К«	)			-					璧	X1_Y1+325(W20)     X1_Y1+325(W20)     X2+100,Y2-1400(W20)     X3-3824,Y1-224(W20)     X3-3824,Y1-224(W20)     X3+334,Y1-224(W20)	
时細 現場名: 1 1 1 1 1 1 1 1 1	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295	新築工事 OKg (2,300 A)	.990Kg	) D13 (SD25	154)		D19 (SD345	)		D22 (SI	)345)	쁖	X1Y1+325(W20) X2+100,Y2-1400(W20) X3=3824,Y1-224(W20) X3=3824,Y1-224(W20) X3=3824,Y1-224(W20)	
明細 現場名: 1 1 1 2 1 2 3 5	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数	新築工事 OKg (2,300 A) 重量	.990Kg 長さ 3.5	) D13(SD25 本数 185	15A) 重量 574 200	長さ 2 5	D19(SD345 本数	) 重量	長さ 2.5	D22(SI 本数 10	)345) ]	璧 重量 108,000	X1/1+326(W20)           X2+100/Y2-1400(W20)           X3-3824 Y1-224(W20)           X9+824 Y1-224(W20)	
明細 現場名: 算量 2 [ えっ] : 3.5 4.0	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640	.990Kg 長さ 3.5 4.0	) D13(SD25 本数 165	15A) 重量 574.200	長さ 3.5 4.0	D19(SD345 本数	) 重量	長さ 3.5 4.0	D22(SI 本数 10 2	)345) I	璧 重量 106.000 24.400	X1/1+326(W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X9+894,Y1-224(W20)	
明細 現場名: 重量 2 [ [ 2 3.5 4.0 4.5	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5	) D13(SD25 本鼓 165 32	15A) 重量 574.200 143.360	長さ 3.5 4.0 4.5	D19(SD345 本数	) 重量	長さ 3.5 4.0 4.5	D22(SI 本数 10 2 4	)345) I	璧 重量 106.000 54.800	X1/1+326(W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X9+894,Y1-224(W20)	
明細 現場名: 重量 2 [ [ さ] : 3.5 4.0 4.5 5.0	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD285 本数 11	新築工事 OKg (2,300 ▲) 重量 24.640	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0	) D13 (SD25 本数 165 32 24	15A) 重量 574.200 143.360 113.520	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0	D19 (SD345 本数	) 重量	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0	D22 (St 本数 10 2 4 2	)345) 直	盤	X1/1+326(W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X9+894,Y1-224(W20)	
明細 見場名: 注量 2 ( さ) 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 5.0	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD285 本数 11	新築工事 OKg (2,30C A) 重量 24.640	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5	) D13 (SD25 本数 165 32 24 23	15A) 重量 574.200 143.360 113.520 125.810	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5	D19 (SD345 本鼓	) 重量	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5	D22(SI 本数 10 2 4 2 18	)345) I	壁 106,000 24,400 54,800 26,200	X1/1+326(W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X9+894,Y1-224(W20)	
明細 現場名:	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 8 8	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 26.880	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 5.5 6.0	) D13 (SD23 本数 165 32 24 23 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 113.520 125.810 35.820 29.920	長さ 3.5 4.0 5.0 5.5 6.0 5.5 6.0	D19(SD345 本鼓	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 8.0 5.5 8.0	D22 (St 本数 10 2 18 12 2	)345) ji	壁 106.000 24.400 54.800 30.400 267.200 218.400	X1Y1+325(W20)           X2+100,Y2-1400(W20)           X3-3824,Y1-224(W20)           X2+304,Y1-224(W20)	
明細 現場名:	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD285 本敬 11 8 8 4	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0	) D13 (SD23 本数 165 32 24 23 6 6 6	15A) 重量 574.200 143.380 113.520 125.810 35.820 38.820	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 6.0 6.5 7.0	D19(SD345 本政 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 5.5 6.0 6.5 7.0	D22 (SI 本数 10 2 18 12 21	)345) jj	₫ 106.000 24.400 54.800 367.200 218.400 415.800	X1Y1+325(W20) X2+100,Y2-1400(W20) X3-3824,Y1-224(W20) X3-3824,Y1-224(W20)	
明細 現場名:	·鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 11 8 4 4	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5	) D13 (SD23 本数 165 32 24 23 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 113.520 125.810 35.820 38.820	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 6.5 7.0 6.5 7.0	D19(SD345 本鼓 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0	D22 (St 本数) 2 4 2 8 8 12 21 2	)345) ]	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 267.200 218.400 415.800 45.600	X1Y1+326(W20)         X2+100.Y2-1400(W20)         X3-3824Y1-224(W20)         X9+824 Y1-224(W20)	
明細 現場名:	·鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 8 8 4	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0	) D13 (SD25 本致 165 32 24 23 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 113.520 125.810 35.820 38.820	長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 7.0 8.0	D19(SD345 本数 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0 8.0	D22 (St 本数) 10 2 4 2 16 12 21 21 2	)345) 1	EE           106.000           24.400           54.800           30.400           28.400           415.800           45.600	X1/1+326(W20)           X2+100.Y2-1400(W20)           X3-3824 Y1-224(W20)           X9+894 Y1-224(W20)	
明細 見場名:: <u> 建</u> 2 で 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 5.5 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 6.0	·鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 8 8 4	新與工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 5.0 5.5 5.0 6.5 7.0 6.5 7.0 8.0 8.5 8.0 8.5	) D13 (SD25 本鼓 165 32 24 23 6 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 113.520 125.810 38.820 38.820	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 6.5 7.0 8.5 7.0 7.5 8.0 8.5 7.0 8.5	D19 (SD345 本数 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 6.5 7.0 8.0 8.5 8.0 8.5 5.0	D22 (SI 本数 10 2 4 2 4 2 12 21 2 2	)345) j	登     ①     ①     ⑥     ⑥     ⑥     ⑥     ⑥     ⑥     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑥     ⑤     ⑥     ⑤     ⑥     ⑥     ⑥     ⑥     ⑥     ⑤     ⑥     ⑤     ⑥     ⑤     ⑤     ⑤     ⑥     ⑤     ⑤     ⑤     ⑥     ⑤     ⑥     ⑤     ⑥     ⑤     ⑥     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤     ⑤	X1/1+326W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824Y1-224(W20)         X9+894 Y1-924(W20)	
明細 見場名:: <u>1</u> 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 3 -5 5 -5 5 -5 5 -5 -5 -5 -5 -	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数   11 8 8 4	新疑工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 5.5 6.0 5.5 6.0 5.5 6.0 5.5 7.0 7.5 8.0 8.5 8.5 8.5 8.5 8.5	) D13 (SD25 本数 165 32 24 23 6 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 118.520 125.810 38.820 38.820	長さ 3.5 4.0 5.5 6.0 5.5 7.0 7.5 8.5 7.0 7.5 8.5 8.5 9.0 8.5 9.5	D19(SD345 本致 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 8.0 8.5 8.0 8.5 8.0 8.5	D22(SI 本数 10 2 4 2 4 2 11 2 12 21 2 2	)345) jj	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 267.200 218.400 415.800 45.600 51.600	X1/1+326(W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)	
明細 現場名:	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 11 8 4	新築工事 0Kg (2,300 ▲) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 5.5 6.0 5.5 6.5 7.0 7.5 8.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.0 9.0	) D13 (SD25 本鼓 165 32 24 23 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 119.520 125.810 35.820 38.820	長さ 3.5 4.0 5.5 6.0 5.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0	D19(SD345 本数 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 8.5 9.0 9.0 5 10.0	D22 (SI 本数 10 2 4 2 18 12 21 2 2	)345) 1	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 287.200 218.400 415.800 51.600	X1Y1+326W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824Y1-224(W20)         X3-3824Y1-224(W20)         X3-4824Y1-224(W20)	
明細 現場名: 1 2 3.5 5.5 6.0 6.5 7.0 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0 9.0 9.5 9.0 9.0 9.0	鉄太郎邸 2,398.81 DIO (SD295 本数 11 8 4	新築工事 OKg (2,300 ▲) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5 6.0 5.5 6.0 7.0 7.5 8.0 8.0 8.0 8.0 9.5 10.0 10.5	) D13 (SD25 本数 165 32 24 23 6 6 8	15A) 重量 574.200 143.360 113.520 125.810 35.820 38.820	長さ 8.5 4.0 5.5 6.0 5.5 8.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 9.5 10.0 9.5	D19(SD345 本数 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 5.5 6.0 5.5 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 9.5 10.0	D22 (St 本数 10 2 4 2 16 12 21 2 2 2	)345) 1	望 106.000 24.400 30.400 267.200 218.400 415.800 45.600 51.600	X1/1+326(W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)	
明編 現場名: 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 8 4	新疑工事 OKg (2,300 ▲) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 3.0 9.5 10.0 10.5 11.0	) D13 (SD25 本数 165 32 24 23 6 6 6	15A) 重量 574.200 143.360 115.20 125.810 35.820 38.820	長さ 3.5 4.0 5.5 6.0 5.5 6.0 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0	D13(SD345 本政 6	) 重量 81.000	長さ 8.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.5 8.0 8.5 8.0 8.5 8.0 8.5 10.0 8.5 11.0	D22 (St 本数 10 2 4 2 18 12 21 2 2 2	3845) 3	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 267.200 218.400 415.800 45.600 51.600	X1/1+326W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)	
明編 現場名: 現場名:	·鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 11 8 4	新築工事 OKg (2,300 ▲) 重量 24.640 26.880 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 8.0 8.5 8.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5	) D13 (SD25 本数) 165 32 24 23 6 6 6	15A) <u>#</u> # 574.200 143.380 113.520 125.810 35.820 38.820	長さ 3.5 3.5 5.0 5.5 5.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5	D19(SD345 本鼓 8 8	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0 8.0 8.5 8.0 8.5 10.0 10.5 11.0 11.5	D22 (St 本数) 10 2 4 2 8 12 21 2 2 1 2 2	3345) j	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 267.200 218.400 415.800 45.600 51.600	X1/1+326W20)           X2+100/Y2-1400(W20)           X3-3824 Y1-224(W20)           X9+824 Y1-224(W20)	
明細 現量 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2	·鉄太郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 8 8 4	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 14.560	.990Kg 4.0 4.5 5.0 6.5 7.0 8.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 2.0	) D13 (SD25 本致 165 32 24 23 6 6 6	15A) <u>T</u> 574.200 143.380 113.520 125.81 35.820 38.820	長さ 3.5 3.5 5.0 5.5 5.0 6.5 7.0 8.5 7.0 8.5 9.0 8.5 9.0 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 11.0	D19(SD345 本数 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 6.5 7.0 8.0 8.5 9.0 8.5 9.0 8.5 10.0 10.5 11.0 11.5 11.0	D22 (St 本数) 100 2 4 2 18 12 21 2 2 1 2 2	3345) jj	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 287.200 218.400 415.800 45.600 51.600	X1/1+326W20)         X2+100/Y2-1400(W20)         X3-3824/Y1-224(W20)         X3-3824/Y1-224(W20)	
明細 現量 2 2 3 4.0 4.5 5.5 6.0 6.5 7.0 8.0 8.5 8.0 8.5 8.0 8.5 8.0 8.5 10.0 11.0 11.0 11.0 11.0 11.0 11.0 11	·鉄大郎邸 2,398.81 D10 (SD295 本数 11 8 8 4	新築工事 OKg (2,300 A) 重量 24.640 14.560	.990Kg 長さ 3.5 4.0 5.5 5.0 5.5 6.0 5.5 7.0 7.5 8.5 8.5 7.0 7.5 8.5 9.0 8.5 9.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 定尺計	) D13 (SD25 本数 165 32 24 23 6 6	15A) <u>#</u> 574.200 143.360 119.520 125.810 38.820 38.820 38.820	長さ 3.5 4.0 5.5 5.0 5.5 7.0 8.5 7.0 8.5 7.0 8.5 3.0 8.5 3.0 8.5 3.0 8.5 10.0 10.5 11.0 11.5 12.0 定尺計	D13(SD345 本数 6	) 重量 81.000	長さ 3.5 4.0 4.5 5.0 6.5 7.0 8.0 8.5 9.0 8.5 9.0 8.5 10.0 10.5 11.0 11.5 112.0 定尺外	D22 (St 本数 10 2 4 2 18 8 12 21 2 2 1 2 2	3345)	璧 106.000 24.400 54.800 30.400 267.200 218.400 415.800 45.600 51.600	X1/1+326W20)         X2+100,Y2-1400(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)         X3-3824,Y1-224(W20)	

# ■ メインメニューより集計

メイン画面の鉄筋加工帳一覧から、加工帳リストを 選択し右クリックすると、数量明細の確認及び印刷 が可能です。

# STEP 6:鉄筋編集、及び施工図・加工帳出力

# 1. 3D 鉄筋編集



- (1) 自動積算後、鉄筋加工帳一覧より鉄筋編集を 行う階の任意の加工帳を選択します。
- (2) 右クリックメニューで「この階の平面図を開 く」を選択します。

選択した階の平面図入力画面が起動します。

現場一覧の現場名をダブルクリックし、平面 図入力画面を起動しても構いません。





- (3) 編集する部材の平面図入力モードにします。ここでは、梁の入力モードにします。
- (4) メニューより「鉄筋」→「鉄筋編集」を選択 します。

左図の梁は自動積算により鉄筋データを保有 している状態です。

本システムでは躯体の色とマークで鉄筋及び 加工帳データの有無などを表しています。 詳しくは巻末の付録「躯体マーク一覧」をご 参照ください。

(5) 計算済み躯体をドラッグで選択します。
 鉄筋 3D 編集モードになり、鉄筋を編集する
 ことができます。



鉄筋編集ツールで、一本一本の鉄筋を対象に 様々な編集ができます。 詳しい操作方法は、本システムのオンライン ヘルプをご参照ください。

※ここでの鉄筋編集は、本体鉄筋データに反 映され、鉄筋施工図及び立体景観などで表示 される鉄筋と連動しています。

※鉄筋編集後、既存鉄筋加工帳は一度削除し 再出力してください。

# 2. 施工図編集及び印刷



(1) 平面図入力モードのメニューより、「鉄筋」→「施工図」→「施工図編集」を順に選択します。

(2) 計算済み躯体をマウスでクリックします。
 施工図編集モードになります。
 鉄筋編集、施工図印刷、加工帳出力が可能です。



## ■ 施工図での鉄筋編集

(3) メニューより「鉄筋編集」ボタンをクリック すると、施工図上で鉄筋編集ができます。

> 梁の施工図編集では、主筋・腹筋・STP 別に 2D及び3D両方の編集が可能です。

> 詳しい操作方法は、本システムのオンライン ヘルプをご参照ください。

> ※施工図での鉄筋編集は、本体鉄筋データに 反映されます。3D鉄筋編集及び立体景観画 面での鉄筋と連動しています。





## ■ 施工図の印刷・編集

(4) メニューより「施工図印刷・編集」ボタンを クリックすると、施工図印刷データの編集画 面が表示されます。

> 施工図の用紙設定、図面枠の追加、キープラ ンの配置など様々な編集が可能です。

> 詳しい操作方法は、本システムのオンライン ヘルプをご参照ください。

> ※この印刷編集画面での鉄筋編集は印刷デー タとして保存されます。 本体鉄筋データに反映されません。





### ■ 施工図での加工帳出力

(5) メニューより「加工帳」ボタンをクリックすると、左図のメッセージが表示されます。
 「既存を表示」を選択すると、既存の加工帳が表示されます。

「新規作成」を選択すると、加工帳を再作成し 鉄筋編集を反映した最新データを表示します。

#### 【便利な機能】

加工帳の番号欄をクリックすると、後ろの施工図画面の鉄 筋がピンク色に変わり、該当鉄筋を確認することができま す。

反対に、施工図画面の鉄筋をクリックすると、鉄筋加工帳 で該当鉄筋行を確認することができます。

# 3. 平面図入力画面より、鉄筋計算及び加工帳出力





本システムは各階各部材の平面図入力画面より、個 別に鉄筋計算及び加工帳出力を行うことができま す。

平面図入力画面で鉄筋計算及び加工帳出力を行った 躯体は、メイン画面での自動積算時に除外されます。

(1) 平面図入力画面のメニューより「鉄筋」→「鉄筋計算」を選択し、躯体をマウスでドラッグします。

鉄筋が計算され、躯体が青色に変わります。

梁の場合、ドラッグされた躯体と連続する躯体が一緒に計算されます。 柱の場合、階に関係なく上下で繋がる柱が一緒に計算されます。





 (2) 鉄筋計算後、メニューより「鉄筋」→「加工 帳出力」ボタンを選択し、加工帳未出力躯体 の加工帳マークをドラッグします。

> 加工帳が作成され、加工帳マークが変わりま す。

> 躯体マークについては巻末の付録「躯体マー ク一覧」をご参照ください。

(3) メニューより「加工帳編集」ボタンを選択し、出力済加工帳マークをドラッグします。鉄筋加工帳が起動します。

加工帳	Ę										
+ n	加工帳番	号: 19	04180016(X	1+549,Y2(FG1)):		I.	<u>×:</u>		Fe	ት: 1F	
/JULL	则废"育税 現:	場: 18	090005:鉄太	、郎邸 新築工事					部位	に 大楽	ŧ
No	名称	径	材質	形状	切寸	本数	箇所	合計	定尺	割数	本数
1	X1+549,Y2(FG1)										
	(1904180016)										
۲ ۲											
				1380							
	X1+540 V2(EG1)			280 112				196.080			198.360
	STP										
		D13	SD295A		3460	57	1	57	3500	1	57
3								32.080			35.840
	腹筋			4025							
		D13	SD295A		4030	8	1	8	4500	1	8
4				9500				27.840			27.840
		010	000054		0500				0500		
5		013	SU295A		3500	ŏ		85 4 40	3500		85 840
Ů				4445				00.440			00.040
		D13	SD295A		4450	8	1	8	4500	1	8
6			0020011	280	1100		<u> </u>	13.416		<u> </u>	13.440
	「「「」」はな			106							



LHA										
	加工帳番	号: 19	04180016(X	1+549.Y2(FG1)):		I	x :		β¥	1: 1F
	展情報 現1	昜: 18	090005:鉄太	郎邸 新築工事					部位	に 大
6	名称	径	材質	形状	切寸	本数	箇所	合計	定尺	割数
1	X1+549,Y2(FG1)									
	(1904180016)									
-										
2										
				1380						
				280 112				100.000		
	1+549,Y2(FG1)							130.000		
	19	D13	SD2954		3460	57	1	57	3500	1
0			002000		0100	~1		32.080		
	<b>1</b> 复 首先			4025						
		D13	SD295A		4030	8	1	8	4500	1
4								27.840		
				3500						
_		D13	SD295A		3500	8	1	8	3500	1
5				4445				35.440		
		D10	000054	4440	4450	0	1		1500	
6		013	50295A	280	4450	õ	1	0 13 / 16	4500	
ů	·西山 ·•• · 尔			100				10.410		
	甲菌 止亡 60 月方	D10	SD295A	100	460	52	1	52	6000	13
7								48.000		
	上中吊1			300						
		D22	SD345		5270	3	1	3	5500	1

加工帳の印刷編集が可能です。編集内容は、 メイン画面の鉄筋加工帳一覧から起動する加 工帳と施工図から起動する加工帳にも反映さ れます。

※ 鉄筋加工帳での編集は、施工図及び3D 鉄筋など本体鉄筋には反映されません。配筋データと加工帳データの不一致状態になりますのでご注意ください。データ不一致状態を解消したい場合、「加工帳

削除」を行ってから再作成してください。

## 【便利な機能】

加工帳の番号欄をクリックすると、後ろの3D画面の鉄筋 がピンク色に変わり、該当鉄筋を確認することができます。

反対に、3D画面の鉄筋をクリックすると、鉄筋加工帳で 該当鉄筋行を確認することができます。


システムの主な画面について

## ■メイン画面

鉄之助ソリッドを起動すると左図のメイン画面が表示されます。

【メインメニュー】タブ画面 主に現場登録と選択、鉄筋加工帳の参照を行います。

【**集計メニュー】タブ画面** 各種集計を行います。

#### 【マスターメンテナンス】タブ画面

径・定尺・材質・メーカー・形状・得意先・部材・ 絵符書式・・・などの追加登録・変更を行います。



■ 階選択画面

現場名一覧より、現場名をダブルクリックすると、 左図のように階選択画面が表示されます。

任意階の部材をクリックすると、該当階の平面図入力画面へ移動します。

躯体入力を行った部材は色付きで表示されます。

### ■平面図入力画面

通芯の入力から、各部材の配筋リスト入力、躯体の 配置、取合図作成、3D表示確認など殆どの操作は ここで行います。



## 平面図入力画面でのマウス操作



## 画面の拡大縮小

マウスホイールを回転させると、画面を拡大縮小で きます。

マウスホイールの回転方向は、メニューバーの[設 定]→[マウスホイール]でカスタマイズできます。 デフォルトは、後方方向回転でズーム拡大します。





## 画面の移動

マウス右ボタンを押したままマウスを動かすと画面 が移動します。

## 初期位置

「Home」キーを押すと初期位置に移動します。





## 3D回転

Shift キー + マウス右ボタンを押しマウスを動かす と、3D 回転します。

2D 回転

Ctrl キー + マウス右ボタンを押しマウスを動かす と、2D 回転します。

## 補助線の作成

基本操作編

•





補助線は部材の配置・追加モード、または描画モー ド時に、通芯と既存補助線を基に作成することがで きます。

左図は柱の配置モード画面です。

## 直線から補助線を作成

- (1) マウスを通芯又は既存補助線に近づけると、緑色の■が点滅します。
- (2) マウスでクリック!したまま...

-184-ARCHITEC CO., LTD.







(3) 作成方向にドラッグします。

- (4) 任意の場所で、マウスを放します。
- (5) 基になる通芯又は補助線との距離を入力します。

(6) 補助線が作成されます。





## 交点から角度 / 半径指定の 補助線を作成

- (1) マウスを通芯又は補助線の交点に近づけると、赤色の●が点滅します。
- (2) マウスでクリック!したまま...
- (3) 作成方向にドラッグします。

(4) マウスドラッグを一旦止めます。
 角度 / 半径指定切替アイコンが表示されます。
 切替アイコンはマウスを動かすと消え、止めると再び表示されます。







(5) マウスを切替アイコンの上に載せると角度指
 定→半径指定、半径指定→角度指定に切り替
 わります。デフォルトは角度指定です。

- (6) 任意の場所で、マウスを放します。
- (7) 角度 / 半径を数値で指定します。

(8) 指定した角度 / 半径で補助線が作成されます。







交点から距離指定の 補助線を作成

- (1) マウスを通芯又は補助線の交点に近づけると、赤色の●が点滅します。
- (2) マウスでクリック!したまま...

(3) 通芯又は補助線に沿って、作成方向にドラッ グします。

- (4) 任意の場所で、マウスを放します。
- (5) 距離を指定します。





#### (6) 交点からの距離指定補助線が作成されます。

## 補助線の編集

#### ■ 補助線の伸縮

- (1) 補助線の両端にマウスを近づけると、緑色の●が点滅します。
- (2) マウスでクリック!したまま...
- (3) ドラッグすると伸縮します。



#### ■ 寸法線の移動

- (1) 寸法線にマウスを近づけると、寸法線移動ツー ル(緑色矢印)が点滅します。
- (2) マウスでクリック!したまま...

(3) ドラッグすると移動します。

#### ■ 右クリックメニュー

補助線を右クリックすると、補助線の削除、表示色の濃淡の変更が可能です。

マスターメンテナンス

基本操作編

径・材質・定尺・階・部位・鉄筋形状…等の基本データは登録済みです。 必要に応じて追加または編集を行います。

- 集計メニュー マスターメ	いテナンス			
径マスター	得意先マスター	単位重量マスター	形状マスター	データフォルダ変更
材質マスター	プロジェクトマスター		面積/体積形状マスター	データフォルダ保存
定尺マスター		径対応材質マスター	絵符書式マスター	データフォルダ復元
メーカーマスター		定尺取りマスター		
		径材質対応メーカーマスター		サンブル現場復元
階マスター		径材質対応曲げ半径マスター		フタートガイド
部位マスター				
				使用期限進長于続き

階マ	スターメニュー
	問合せ
	メンテナンス
	終了

メイン画面の「マスターメンテナンス」タブをクリッ クすると、メンテナンス項目画面が表示されます。 各マスターボタンをクリックし、マスターデータの 追加・編集・参照を行います。

ここでは、「階マスター」を例にマスターメンテナ ンスの基本操作方法について説明します。

階マスター

#### ■ 階の追加

階名「B1F」・「B2F」・「B3F」を追加します。

- (1) 「階マスター」ボタンをクリックすると、階マ スターメニュー画面が表示されます。
- (2)「メンテナンス」ボタンをクリックします。階マスターメンテナンス画面が表示されます。

「問い合わせ」ボタンをクリックすると、階マ スターの参照と印刷のみが可能です。

番号	階名称	表示順	使用		
00001	基礎	1	可		
00002	1F	2	可		
00003	2F	3	可		
00004	ЗF	4	可		
00005	4F	5	可		
00006	SF	6	可		
00007	6F	7	可		
00008	7F	8	可		
00009	8F	9	可		
00010	9F	10	可		

決定

(3) 「階追加」ボタンをクリックします。 階追加入力画面が表示されます。

(4) 階名称を入力し、「決定」ボタンをクリックし ます。

ここでは、「B1F」と入力します。

使用不可を選択すると、階選択時に表示され なくなり使用できなくなります。

	変更前		変更後		
階番号	階名称		階番号	階名称	^
00023	B1F		00001	基礎	
			00002	1F	
			00003	2F	
			00004	ЗF	
			00005	4F	
			00006	SF	
		1	00007	6F	
		ドラック	00008	7F	
			00009	8F	
			00010	9F	
			00011	1 OF	
			00012	11F	
			00013	12F	
			00014	13F	
			00015	14F	
			00016	1 SF	
			00017	16F	
			00018	1 7F	4
			<		>

ß	皆マスターメン	ッテナンス			
	階番号	階名称	表示順	使用	^
	00016	15F	16	न	
	00017	16F	17	可	
	00018	17F	18	न	
	00019	18F	19	न	
	00020	19F	20	可	
	00021	20F	21	可	
	00022	RF	22	可	
	00023	B1F	23	न	
ľ					
L					×
	階追加	階変更	表示	脯変更	印刷 キャンセル 決定

(5) 階名の表示順設定画面が表示されますが、設定せず「キャンセル」ボタンをクリックします。
 表示順を設定しない場合、最後に追加されます。

「B1F」が階名一覧に登録されます。同じ操作方法で、「B2F」・「B3F」を追加登録します。

谐番号	階名称	表示順	使用				
00017	16F	17	可				
00018	17F	18	可				
00019	18F	19	न				
00020	19F	20	न				
00021	20F	21	न				
00022	RF	- 22	न				
00023	B1F	- 23	可				
00024	B2F	24	न				
00025	B3F	25	न				



00021 00022 00023 00024 00025	20F RF B1 B2 B3	21 0 22 0 23 0 24 0 25 0	이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이		
階追加	階変更	表示順	変更印刷	キャンセル	決定

#### ■ 階の変更

ここでは「B1F」・「B2F」・「B3F」→「B1」・「B2」・ 「B3」に変更します。

- (1) 変更する階名をクリックで選択し、「階変更」
   ボタンをクリックします。
   階編集画面が表示されます。
- (2) 階名称「B1F」を「B1」に変更し、「決定」
   ボタンをクリックします。
- (3) 階名が変更されます。

同じ操作方法で、「B2F」・「B3F」を変更します。

階マスターメ	ンテナンス					
階番号	階名称	表示順	使用			*
00017	16F	17	可			
00018	17F	18	可			
00019	18F	19	可			
00020	19F	20	可			
00021	20F	21	可			
00022	RF	22	可			
00023	B1	23	可			
00024	B2	24	可			
00025	B3	25	可			
						×
階追加	階変更	表示	順変更	印刷	キャンセル	決定



#### ■ 表示順変更

ここでは、「B1」・「B2」・「B3」を「基礎」の次に 表示するように表示順を変更します。

- (1) マスターメンテナンスの画面より、「表示順変
   更」ボタンをクリックします。
   階の表示設定画面が表示されます。
- (2) 左側の変更前一覧より、上に表示する階を選 択し、右側の変更後一覧にドラッグ&ドロッ プします。

選択方法は、クリックで単数選択、Shift キー を押しながら選択範囲の開始・終了をクリッ クする複数選択があります。

ここでは、先に「B3」を選択し、右側へドラッ グ&ドロップします。次に、同じ方法で順に 「B2」・「B1」を移動します。



¥

18F

左図のように、階「B3」・「B2」・「B1」が、 右側の変更後一覧の一番上に移動します。

(3) 続けて、左側の残りの全ての階名を選択し、右側へドロップ&ドラッグします。

変更前					変更後	
階番号	階名称			階番号	階名称	^
				00001	基礎	
				00025	B3	
				00024	B2	
				00023	B1	
				00002	1F	
				00003	2F	
				00004	3F	
			ドラッグ	00005	4F	
			$\sim$	00006	SF	
			$\checkmark$	00007	6F	
				00008	7F	
				00009	8F	
				00010	9F	
				00011	1 OF	
				00012	11F	
				00013	12F	
				00014	13F	
				00015	14F	~
				<		>

階マスターメ	シテナンス					
階番号	階名称	表示順	吏用			^
00017	16F	20	可			
00018	17F	21	可			
00019	18F	22	可			
00020	19F	23	可			
00021	20F	24	可			
00022	RF	25	可			
00023	B1	4	可			
00024	B2	3	可			
00025	B3	2	可			
						~
階追加	] 階変更	[ 表示	膝更	印刷	キャンセル	決定

左図のように、残りの階名が B3・B2・B1 の 下へ移動されます。

「基礎」は、移動順番に関係なく一番上に表示 されます。

(4) 「決定」ボタンをクリックすると、階マスター メンテナンス画面へ戻ります。

「B1・B2・B3」の表示順が、「23・24・25」 から「4・3・2」に変わります。

#### 基本操作編

	階 名	階 高	^
020			11.
019			
018			11
017			11
016			11
015			
01.4			
013			11
012			11
011			11
010			
009			11
008			11
007			11
006			11
005			
004			
003			
002			
001	B3		
000	基礎		

現場障	韻定				
	階 名		階	高	^
020					
019					
018	B3				
017	B2				
016	B1				
015	2F				
01.4	ЗF				
013	4F SF				
012	6F				
011	7F SF				
01.0	9F				
009	10F 11F				
008	12F				
007	13F				
006	14F 15F				
005	16F				
004	17F 18F				
003	19F				
002	20F RE				
001	B3	~			
000	基礎		-		*
		キャ)	ンセル	登記	₹

上記の階名追加及び表示順の設定により、 階設定画面で「B3」・「B2」・「B1」の順に階 名一覧に表示されます。





## 径の追加

ここでは、高強度フープ筋 KSS785 の S10・S13・S16 の追加を例に、径追加時の径マスター・材質マスター・径対応材質マスターでの操作方法を説明します。

#### ■ 径マスター

径「S10・S13・S16」を追加します。

- (1)「径マスター」ボタンをクリックすると、径マ スターメニュー画面が表示されます。
- (2)「メンテナンス」ボタンをクリックします。メンテナンス内容選択画面が表示されます。
- (3)「径の追加」ボタンをクリックします。鉄筋径の新規追加後、単位重量設定が必須であるメッセージが表示されます。



Eマスターメ	ンテナンス						
径名称	径略称	径分類	径太さ	曲げ半径	種別	表示順	
D6	6	D	6	2.0	通常加工	1	
D10	10	D	10	2.0	通常加工	2	
D13	13	D	13	2.0	通常加工	3	
D16	16	D	16	2.0	通常加工	4	
D19	19	D	19	2.5	通常加工	5	
D22	22	D	- 22	2.5	通常加工	6	
D25	25	D	25	2.5	通常加工	7	
D29	29	D	29	2.5	通常加工	8	
D32	32	D	32	2.5	通常加工	9	
D35	35	D	35	2.5	通常加工	10	
D38	38	D	38	2.5	通常加工	11	
D41	41	D	41	2.5	通常加工	12	
D51	51	D	51	2.5	通常加工	13	
径追加	表示	訓練変更			印刷	キャンヤル	決定

# (4)「はい」をクリックします。 径マスターメンテナンス画面に、既存の鉄筋 径一覧が表示されます。

(5)「径追加」ボタンをクリックします。 径追加入力画面が開きます。



	定			
径名称	材質名称	単位重:	量(Kg/m)	
	SD295A			0
	SD295B			0
\$10	SD345			0
310	SD390			0
	SD490			0
	SD295			0

(6) 左図のように径情報を入力します。

「色変更」ボタンをクリックすると、表示・印 刷色の設定が可能です。

(7) 「決定」ボタンをクリックします。 単位重量設定画面が表示されます。

(8) 該当材質が未登録のため、単位重量を設定せずに「決定」ボタンをクリックします。鉄筋径一覧画面に戻ります。

径名称	径略称	径分類	径太さ	曲げ半径	種別	表示順	
06	6	D	6	2.0	通常加工	1	
D10	10	D	10	2.0	通常加工	2	
D13	13	D	13	2.0	通常加工	3	
D16	16	D	16	2.0	通常加工	4	
D19	19	D	19	2.5	通常加工	5	
D22	22	D	22	2.5	通常加工	6	
D25	25	D	25	2.5	通常加工	7	
D29	29	D	29	2.5	通常加工	8	
D32	32	D	32	2.5	通常加工	9	
D35	35	D	35	2.5	通常加工	10	
D38	38	D	38	2.5	通常加工	11	
D41	41	D	41	2.5	通常加工	12	
D51	51	D	51	2.5	通常加工	13	
S10	S10	S	10	4.0	通常加工	14	
	表示	小順変更			印刷	キャンセル	決定
径追加							
径追加				•			
径追加 D41	41	D	41	2.5	通常加工	12	
径追加 D41 D51	41 51	D D	41 51	2.5 2.5	通常加工 通常加工	12 13	
径追加 D41 D51 S10	41 51 S10	D D S	41 51 10	2.5 2.5 4.0	通常加工 通常加工 通常加工	12 13 14	
径追加 D41 D51 S10 S13	41 51 S10 S13	D D S S	41 51 10 13	2.5 2.5 4.0 4.0	通常加工 通常加工 通常加工 通常加工	12 13 14 15	
径追加 D41 D51 S10 S13 S16	41 51 S10 S13 S16	D D S S S	41 51 10 13 16	2.5 2.5 4.0 4.0 4.0	通常加工 通常加工 通常加工 通常加工 通常加工	12 13 14 15 16	
径追加 D41 D51 S10 S13 S16	41 51 S10 S13 S16	D D S S S	41 51 10 13 16	2.5 2.5 4.0 4.0 4.0	通常加工 通常加工 通常加工 通常加工 通常加工	12 13 14 15 16	

径「S10」が登録されます。 同様に、「S13」・「S16」を追加登録します。

(9) 「決定」ボタンをクリックし、径追加画面を閉 じます。

> 「径対応材質マスター」の必須設定メッセージ が表示され、径対応材質マスター画面が自動 的に起動します。

(R		
径マスターメニュー		×
▲ 経対 材質	応材質マスターにて対応する材質を設定してください。 が設定されていない径は使用できません。	,
	OK	
	径対応材質マスター	
	問合せ	
	メンテナンス	
	終了	

(10) ここでは、材質をまだ登録していないため「終 了」ボタンをクリックし、マスターメンテナ ンス画面へ戻ります。

> 「径対応材質マスター」の操作手順は、【P207】 をご参照ください。

ニュー 集計メニュー マスターメンテナンス				
径マスター 谷	身意先マスター	単位重量マスター	形状マスター	データフォルダ変更
材質マスタープロ	コジェクトマスター		面積/体積形状マスター	データフォルダ保存
定尺マスター		径対応材質マスター	絵符書式マスター	データフォルダ復元
メーカーマスター		定尺取りマスター		
		径材質対応メーカーマスター		サンブル現場復元
		径材質対応曲け半径マスター		スタートガイド
				リリースノート
				問い合わせ
				使用期限延長手続き
				フーザー情報変更



#### ■ 材質マスター

材質「KSS785」を追加します。

(11)「材質マスター」ボタンをクリックし、径マス ター同様に操作します。



(12) 材質追加入力画面で、材質名称欄に「KSS785」 を入力し、「決定」ボタンをクリックします。 単位重量設定画面が表示されます。

径名称	材質名称	単位 <u>重</u> 量(Kg/m)
D6	KSS785	0
D10	KSS785	0
D13	KSS785	0
D16	KSS785	0
D19	KSS785	0
D22	KSS785	0
D25	KSS785	0
D29	KSS785	0
D32	KSS785	0
D35	KSS785	0
D38	KSS785	0
D41	KSS785	0
D51	KSS785	0
S10	KSS785	0.56
S13	KSS785	0.995
S16	KSS785	1.56
		a de la calega

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

オ質マスターメン	テナンス				
材質名称	表示順				
SD295A	1				
SD295B	2				
SD345	3				
SD390	4				
SD490	5				
KSS785	6				
材質追加	表示顺利	更	ED刷	キャンセル	決定

(13) 左図のように、S10・S13・S16の単位重量を入力します。

#### (14)「決定」ボタンをクリックすると、材質 「KSS785」が追加登録されます。



メンテナンス

終了

(15)「終了」ボタンをクリックし、マスタメンテナ ンス画面に戻ります。

#### ■ 径対応材質マスター

鉄筋径の新規追加後、必ず対応する材質を設定しな ければなりません。材質の設定がない鉄筋径は使用 できません。

(16)「径対応材質マスター」ボタンをクリックします。
 径対応材質マスターメニュー画面が表示されます。

(17)「メンテナンス」ボタンをクリックします。径対応材質マスターメンテナンス画面が表示 されます。





(20) 右側の径一覧より、設定する径を選択します。 ここでは、「D6」を選択します。

> 径の選択方法には、クリックによる単数選択、 ドラッグによる複数選択があります。また、 Shift キーを押しながら選択範囲の開始・終了 をクリックしする複数選択方法もあります。

(21) 左側の材質一覧より、設定する材質を選択し
 右側へドラッグ&ドロップします。
 径対応材質が設定されます。「D6」に材質
 「SD295A」が設定されます。

	材質				径対応材質
番号	名称			優先材質	使用可能材質
00001	SD295A		D6	SD295A	SD295A
00002	SD295B		D10		
00003	SD345	材質設定	D13		
00004	SD390		D16		
00005	SD490	$\Rightarrow$	D19		
	N00700		D22		
			D25		
			D29		
			D32		
			D35		
			D38		
			D41		
			D51		
			S10		
			S13		
	1111	ドラッグ&ド	שיע⊂	&	
		anna anna anna anna anna anna anna ann	mmm		
00004	20390		D16		
00005	SD490	$\Rightarrow$	D19		
00006	K99/85		D22		
			D25		
			D29		
			D32		
			D35		
			D38		
			D41		
			D51		
			S10	KSS785	KSS785
			S13	KSS785	KSS785
			S16	KSS 35	KSS785

(22) 右側の径一覧より、S10・S13・S16 をドラッ グで選択し、上記の方法で径対応材質として 「KSS785」を設定します。



- (23)同じ操作方法で、左図のように残りの径に対応材質を設定します。
- (24)「決定」ボタンをクリックし、径対応材質追加 画面を終了します。径対応材質一覧に追加されます。
- (25) 続けて順に「決定」→「終了」ボタンをクリックし、径対応材質マスターを終了させます。

鉄筋径を新規追加した場合、以上のように材質マス ターでの設定、径対応材質マスターでの設定を完了 することで、径の使用が可能になります。



配筋リスト入力画面



#### 加工帳入力画面



径対応材質マスターの追加により、現場新規作成で 該当の径対応材質を指定することが可能になりま す。

また、上記の設定により配筋リスト入力及び加工帳 入力で、鉄筋径を入力すると指定の径対応材質表に 従って自動的に材質が設定されます。

· 操 が た	鉄之助ソリッド プロ版 Ver1.7.11.5 インメニュー 集計メニュー マスターメ	ンテナンス		
	<b>ጀ</b> マスター	得意先マスター	単位重量マスター	形状マスター
	材質マスター	プロジェクトマスター	径対応材質マスター	面積/体積形状マスタ
- 11	モドマスター		定尺取りマスター	統付書式マスター
	Rht—R L		径材質対応メーカーマスター	
	階マスター 部位マスター		往材質対応曲け半径マスター	



鉄之助ソリッドのデータフォルダ及び現場データは エクスプローラーなどから直接操作(切り取り・コ ピー・貼り付け・削除など)することはできません。 データが破損しプログラムが起動できなくなる恐れ があります。 必ず以下の説明を参照し操作してください。

## データフォルダの保存

ここでは、ユーザ間で受け渡し用現場データの保存 方法を説明します。

(1) メイン画面で「マスターメンテナンス」タブ をクリックし、「データフォルダ保存 | ボタン を選択します。

バックアップ目的選択画面を表示されます。

(2) 「データ受け渡し用」を選択し、「次へ」ボタ ンをクリックします。 保存ファイル設定画面が表示されます。

データフォルダ変更

データフォルダ保存

データフォルダ復元

サンプル現場復元

スタートガイド リリースノート

問い合わせ 使用期限延長手続き ユーザー情報変更

- 存ファイルの設定		
ファイル設定		
□ パスワードロックをかける		
パスワード		
<ul> <li>□ 復元できる有効期限を設定する</li> <li>復元有効期限 2019年 7月 6日 √</li> <li>※復元時にインターネット認証されている必要があります。</li> <li>復元できるユーザー</li> <li>● 全てのユーザー</li> <li>○ 現在起動中のユーザーDのみ</li> <li>○ 二 ボ エギロコス</li> </ul>		
○ ユーザーを指定する		
ユーザーID		
保存現場		
保存対象 編集 再配布 現場番号 現場名称		重量
🗌 🗌 🔂 18090005 🎲 鉄太郎邸 新築工事		19,195
🔳 保存 🔳 可 🔳 可 🥪 19060001 🦹 鉄次郎邸 新築工事		16,790
「保存対象」・・・保存する現場を選択してください。 「編集」・・・保存されたデータを復元したユーザーがその現場を編集できるか設定してください。 「再配布」・・・保存されたデータを復元したユーザーがその現場を再配布用にパックアップできるオ	の設定してくださ	ω.
初期值設定	キャンセル	次へ >>

- (3) 保存対象の現場欄をマウスでクリックし、保 存現場を選択します。
  - ・ 復元ユーザーに現場データを編集できないようにする場合は、「□編集」のラジオボックスをクリックしチェックを外します。
  - ・ 再配布できないようにする場合も、同じく「□
     再配布」のラジオボックスをクリックしチェックを外します。

※ パスワードロックをかけると、データフォ ルダの復元時にパスワードを入力する必要が あります。復元ユーザーに設定パスワードを 伝えてください。

(4)「次へ」ボタンをクリックすると、データフォ ルダの保存場所とファイル名の設定画面が表 示されます。
データフォルダ保存		
現在のデータフォルダ		
D:¥T4Data¥T4¥TraningText2019		
ファイル名		
	設定	
	予想時間 00:01:00	
保存中止	閉じる保存開始	
名前を付けて保存		×
← → ▼ ↑ 📙 > PC > ボリューム(E:) > T4現場データ > マニュアル	✓ <ul><li><b>ひ</b></li><li>マニュアルの検索</li></ul>	م
整理 ▼ 新しいフォルダー	E 8. 6.0	• 🕐
<ul> <li>③ 3D オブジェクト ダウンロード </li> <li>デスクトップ </li> <li>ドキュメント </li> <li>ビクチャ </li> <li>ビブオ </li> <li>ミュージック </li> <li>ボリューム (D:) </li> <li>ボリューム (E:) </li> </ul>		
🍰 אירט-ל 🗸		
ファイル名( <u>N</u> ): 鉄次郎新築 ファイルの種類( <u>T</u> ): 現場フォルダパックアップファイル (*.T4F)		~
▲ フォルダーの非表示	保存(5) キ	ャンセル

(5) 「設定」ボタンをクリックし、ファイル名を入 力します。

データフォルダ保存
現在のデータフォルダ
D:¥T4Data¥T4¥TraningText2019
ファイル名
E:¥T4現場データ¥マニュアル¥鉄次郎新築:t4f 設定
予想時間 00:01:00
保存中止 閉じる 保存開始

保存完了	×
1	データフォルダの保存が完了しました。
	ОК

(6) ファイル名の設定が終わったら、「保存開始」 ボタンをクリックします。 データの保存が始まります。

(7) 最後に、データ保存完了メッセージが表示されます。

径マスター	得意先マスター	単位重量マスター	形状マスター	データフォルダ変更
材質マスター	プロジェクトマスター		面積/体積形状マスター	データフォルダ保存
定尺マスター		径対応材質マスター	絵符書式マスター	データフォルダ復元
		定尺取りマスター		
メーカーマスター		径材質対応メーカーマスター		サンプル現場復元
階マスター		径材質対応曲げ半径マスター		
部位マスター				スタートガイド
				リリースノート
				問い合わせ
				(本田学取日本) 巨手 (古本)

データフォルダ復元			
復元ファイル名			=ೡ⊷
			設定
復元先フォルタ			設定
	復元中止	閉じる	復元開始

# データフォルダの復元

ここでは、受け取った現場データの復元方法を説明 します。

(1) メイン画面で「マスターメンテナンス」タブ
 をクリックし、「データフォルダ復元」ボタン
 を選択します。
 復元設定画面が表示されます。

復元設に回面が衣示されます。

 (2) 復元ファイルを設定します。
 「設定」ボタンをクリックし、復元ファイルを 選択します。

		×
← → × ↑	✓ ³ マニュアルの検索	م
整理 ▼ 新山いフォルダー		
■ PC ③ 3D オブジェクト ■ Apple iPhone  Apple iPhone  BP_Vシリーズ  Manualm  現場 tof  Apple iPhone  Apple iPhone Apple iP		
<ul> <li>↓ ダウンロード</li> <li>↓ ブスクトップ</li> <li>≦ ドキュメント</li> </ul>		
■ ビクチャ ■ ビデオ > ミュージック		
" Windows (C:) ■ ポリューム (D:) ■ ポリューム (E:)		
ファイル名( <u>N</u> ): 鉄次郎新築.t4f	<ul> <li>マ 現場フォルダバックアップファイル 開く(<u>O</u>) キャンセ</li> </ul>	(*.1 〜 2Jレ
テータフォルタ復元		
復元ファイル名 E:¥T4現場データ¥マニュアル¥鉄次郎新築.t4f	設定	
復元先フォルダ	設定	
	予想時間 00:01:00	
復元中止	閉じる復元開始	

(3) ファイル選択画面で、復元するデータファイ ルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

> 復元ファイル名欄に選択したデータファイル 名が表示されます

(4) 復元先フォルダを設定します。
 「設定」ボタンをクリックすると、フォルダ参照画面が開きます



データフォルダ復元	
復元ファイル名	
E:¥T4現場データ¥マニュアル¥鉄次郎新築:t4f	設定
復元先フォルダ	
D:¥T4Data¥T4¥Tetsujiro	設定
予想時間	00:01:00
復元中止 閉じる 復	元開始

(5)	「新規フォルダーの作成」ボタンをクリックし、 フォルダ名を設定します。 ここでは、フォルダ名を「Tetsujiro」 にします。
	<ul> <li>※英数字以外の文字を含むフォルダ名はデー タフォルダにできません。</li> <li>※データの復元先は新規フォルダを作成する か空のフォルダを指定してください。</li> </ul>
(6)	復元ファイルと復元先フォルダの設定が終 わったら、「復元開始」 ボタンをクリックしま

わったら、「復元開始」ボタンをクリックしま す。

データファイルの保存時にパスワードが設定 されている場合は、以下の画面が表示されま す。





沙 鉄之助ソリッドプロ版 Ver1.7.3.0			
メインメニュー 集計メニュー マスターメンテナン	ッス		
プロジェクト名称	現場番号	現場名称	重量 Kg
7091919		表 示 現 場 総 合 計	16,790
	👝 新規登録		
	🦆 19060001	🎲 鉄次郎邸 新築工事	16,790

クします。 データファイルの復元が始まります。 パスワードが不明な場合は、入手元にお問い 合わせください。 (8) 復元が完了すると、左図の画面が表示されま す。 「はい」をクリックすると、データフォルダが

(7) パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリッ

「はい」をクリックすると、テータフォルタル 切り替わり、現場データの確認が可能です。



応用編

🎲 プロジェクト3 - 鉄太郎	S 新築工事Ⅱ 1F	→ H=0				
ファイル( <u>F</u> ) 表示( <u>V</u> )	階移動( <u>M</u> ) 階コピ	-( <u>C</u> ) 印刷( <u>P</u> )	設定( <u>S</u> )	ヘルプ( <u>H</u> )	アシストフォー	ム表示(F1)
🗰 ESC 🗠 ा 🌐 🌐	HH 🔉 🏠 🔂 (					
	PDF通流	2				
𝔥 PDFファイル選択						×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$ $\square$ > PC >	ローカル ディスク (D:) > T4図面デー	9 >		~ C T	4図面データの検索	م
整理 ▼ 新しいフォルダー					≣ ▪	
✓ ■ ローカル ディスク (D:)	名前	更新日	時	種類	サイズ	
〉 💼 Gen共有	📒 test	2024/1	2/10 14:40	ファイル フォルダー		
> 🛅 OriginalHP_DW	🔒 トレーニングテキスト1F.pdf	2024/1	2/06 15:59	Adobe Acroba 文書	₱ KB	
> 💼 PCリカバリー時	🔒 全ページ.pdf	2018/1	2/19 9:05	Adobe Acroba 文書	2,163 KB	
<ul> <li>&gt; こ SolidData</li> <li>&gt; こ T4トレーニングテキスト</li> <li>&gt; こ T4ヘルブムービ</li> </ul>	👌 保育團A棟鉄骨図.pdf	2024/0	17/19 9:34	Adobe Acroba 文書	₹ 5,023 KB	
> 🛅 T4図面データ						
> 💼 インストール用アプリ						
> 📒 グラフィック関連						
- 、 - 、 、 - 、 、 - 、 、 、 - 、 、 、 - 、 、 . 、 - 、 . 、 .	%−ジ.pdf			~ I	odfファイル (*.pdf) 開く(O)	~ キャンセル

ここでは PDF 形式の図面から通芯を取り込みます。 ※ PDF 形式図面は座標情報を持ったベクター PDF である必要があります。

- メインメニューより「通芯」ボタンをクリックし、通芯入力モードにします。
- (2)「PDF 通芯」ボタンを選択します。PDF ファイル選択ウインドウが表示されます。
- (3) 図面ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

ファイルに複数ページが含まれている場合、 PDFページ選択ウインドが表示されます。 単ページの場合、PDFファイルから直接線分 データを画面上に読み込みます。







(6) 通芯とする線分を選択します。

・「線分ドラッグ作業」が「選択」モードであ ることを確認した上、該当線分をドラッグし ます。

・選択された線分は緑色で表示されます。 「解除」ボタンをクリックし、選択された線分 を再びドラッグすると選択から除外されます。

PDF 図面の通芯が点線または破線の場合、 「PDF 線分接続」機能を使い直線にしてから 線分選択を行います。詳しい操作方法はオン ラインヘルプ (ムービ)の「通芯」→「PDF 取り込み」→「点線または破線の場合」をご 参照ください。

(7) 「確定」ボタンをクリックします。 「2 線分間の寸法指定」モードになります。





(8) 隣接する平行な2線分を交差するように、直線で選択します。

左図のように始点と終点の位置をクリックし 直線で2線分を選択します。選択された2線 分は赤色で表示されます。

 (9) PDF 図面を参照し、2 線分間の間隔寸法を入 力します。
 ここでは「4600」と入力します。

> Shift キー +「*」キーを押すと、「PDF ビュー ア」ウインドウを表示し図面を参照すること ができます。



PDF通芯		X
1	通芯間の寸法は誤差が生じる場合があります。 必ず、寸法確認を行ってください。 [間隔]で寸法修正が可能です。	
	OK	ן

 (10) たて・よこの通名を選択し、「OK」ボタンを クリックします。
 PDF 線分を通芯として取り込みます。
 縮尺は自動調整されます。

通名は後で編集することもできます。





(11) 最後に、取り込んだ通芯及び寸法を確認し、
 誤差のある寸法を修正します。
 「間隔」修正モードで、寸法文字をクリックすると修正することができます。

# PDF・DXF 図面の活用 ~平面図入力画面の背景として配置~



本システムは背景イメージとして「dxf、bmp、 jpg、gif、png、tif、pdf」形式のファイルを読込み 配置することができます。画面から視線を外すこと なく配置した図面を見ながら躯体入力作業を行うこ とができます。

また、座標情報を持ったベクター PDF 及び DXF 図 面を背景として画面に配置すると、図面から躯体を 自動認識配置することができます。

ここでは座標情報を持ったベクター PDF 及び DXF 図面を読込み画面背景として配置する方法を説明し ます。

#### 図面の読込み及び登録

- (1) メインメニューより「通芯」を選択し、「背景
   図面」→「図面登録」の順にクリックします。
   「登録済背景図面」と「階毎背景図面選択」ウ
   インドウが表示されます。
- (2)「登録済背景図面」ウインドウメニューより「追加」ボタンをクリックします。

背景図面 <新規作成> 001:1F伏図DXF	24	■ 177イル読込 □ 読込後、図面範囲を指定する	読込後の画像サイズ ² 5000 px 小	1000 px 5000 px 大	(3)	背景図面読込画面が表示されます。 「図面ファイル読込」ボタンをクリックします。
	画像 — 入力を約	サイズ: %了します。	口 登録 Pa	元に戻す 閉じる ageUp前頁/PageDown次頁		
イメージファイル/DXFファイル/PDI ← → ∨ ↑		ローカル ディスク (D:) → T4図面データ	✓ C T4図面5	× タの検索 の	(4)	読み込む図面を選択し、「開く」をクリックし ます。 ここでは、座標情報を持ったベクター PDF
整理 ▼ 新しいフォルダー				≣ ▾ 🔲 💡		ファイルを選択します。
N ギャラリー > OneDrive	I	名前 2 F_Y1-X3(31877x20767).dxf ) 全ページ.pdf	更新日時 2024/12/13 10:06 2018/12/19 9:05	種類 サイ DWG TrueView 図 Adobe Acroba 文書		
■ デスクトップ	* * *	<ul> <li>➡ 鉄太郎-1F伏図.dxf</li> <li>▲ 鉄太郎-1F伏図.pdf</li> <li>▲ 保育園A棟鉄骨図.pdf</li> </ul>	2024/12/13 10:31 2024/12/13 11:58 2024/07/19 9:34	DWG TrueView 図 Adobe Acroba 文書 Adobe Acroba 文書		
🔀 ビクチャ ファイル	★ /名( <u>N</u> ): 鉄	大郎-1F伏図.pdf	✓ *pdf,*.c<	hxf*.bmp,*.jpg,*.gif,*.pnç 〜 ((①) キャンセル		





(5)「名称」欄に背景図面の表示名称を入力し、「登録」をクリックします。
 背景図面のデータ認識状況に関するメッセージが表示されます。

左図 a のメッセージは、線分・文字情報を認 識できた場合表示されます。

「はい」をクリックすると、背景図面は躯体自 動認識機能を使い作業することができます。 「いいえ」を選択すると、背景図面は参照のみ になります。

左図 b のメッセージは、線分・文字情報を認 識できない場合表示されます。この場合、画 像データとして登録されます。

Cこでは、aのメッセージが表示されますの
 で、「はい」をクリックします。





登録済背景図面一覧に図面名称が表示されます。

#### ■ 背景図面の配置及び位置合わせ

(7) 登録済背景図面一覧から図面を選択し、画面
 上の任意の場所をクリックします。
 メッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると背景図面が配置されます。

同時に「階毎背景図面選択」一覧に図面名が 表示されます。

同じ階に複数枚配置することができます。

線・文字情報を認識できる図面が配置された 場合、「交点選択」モードで位置合わせを行う ことができます。



- (8) 交点選択モードで背景図面の位置合わせを行います。
  - 1 背景図面上で、位置合わせの固定点とする通 芯の交点にマウスを近づけます。
     オレンジ色の●が点滅します。
     ここでは、X1 と Y1 の交点を固定点とします。
  - ② そのままクリックします。緑色の●が表示されます。
  - ③ マウスを動かし、画面上の該当の通芯の交点 (X1Y1)に近づけます。





④ 赤色の●が点滅した箇所でクリックします。
 背景図面上の通芯交点と画面上の通芯交点の
 位置を一致させることができます。

固定点になり、緑の逆三角形マークが表示されます。





⑤ 同じ操作方法で、固定点の対角方向にある背 景図面上の通芯交点(ここでは X3 と Y2 の交 点)をクリックし、画面上の該当の通芯交点 に合わせクリックします。

背景図面に誤差がある場合を除き、画面上の 通芯と背景図面の通芯がすべて一致した状態 になります。

左下の通芯交点と右上通芯交点を選択すると 位置合わせがスムーズになります。

# PDF・DXF 図面の活用 ~自動認識機能での躯体配置~

 アイル(F) 表示(M) 階珍動(M) 階口ピー(C) 印刷(P) 設定(S) ヘルプ(H) アシストフォーム表示(F1)

 Image: Solution Content in the second sec

応用編



ベースと柱は、躯体自動認識機能で配置することが できます。

ここではベースを例に説明します。

 (1) 座標情報を持ったベクター PDF 及び DXF 図 面を背景に表示させます。
 キーボードより「*」キーを押すと、配置済 みの背景図面を表示することができます。
 「背景図面認識選択」ウインドが表れます。

(2) 「ロリスト自動認識」と「回躯体寄り自動認識」 を選択します。

(3)「下端高さ」を指定します。



(4) 図面上のベースをドラッグで選択します。
 通芯交点をクリックすると一躯体ずつ配置することができます。

- (5) 背景図面上のベースを自動認識し寄り寸法の 設定モードになります。
- (6) リスト名及び寄り寸法を確認し、「OK」ボタンをクリックします。
   「連動」ボタンを選択すると一括で配置されます。





## 角合わせ機能で配置

背景図面の躯体を認識できない場合、角合わせ機能 で個別配置することができます。

(1)「背景図面の認識選択」ウインドから任意の角を選択します。

ここでは「右下角合わせ」を選択します。





(2) リストを選択します。

背景図面上で躯体リスト記号をクリックする とリストー覧のリスト名が選択されます。

躯体リストとして認識されている場合、リスト記号の近くに緑色のOが表示されています。

- (3) 下端高さを指定し、背景図面上で躯体の右下 角にマウスを近づけます。
   オレンジ色の●が表示されます。
- (4) そのままクリックすると躯体を配置することができます。



#### 背景図面に誤差がなければ寄り寸法を調整す る必要がありません。

H

#### ◆ 鉄筋関連

#### 未計算

鉄筋未計算躯体で、鉄筋データがない ことを表します。

#### 計算済み

鉄筋計算済みで、鉄筋データを保有して いることを表します。 鉄筋の3D編集、加工帳及び施工図の出 力、配筋検討図作成が可能な状態です。



#### 鉄筋編集あり

要再計算

表示されます。

鉄筋計算後、手動で3D鉄筋編集または 鉄筋施工図で鉄筋データが編集されたこ とを表します。



#### 施工図印刷データあり

施工図の印刷データを保有している ことを表します。





ロック鉄筋あり ロックをかけた鉄筋が含まれていること を表します。 鉄筋編集または配筋検討で、鉄筋にロック をかけた場合表示されます。

鉄筋計算後、配筋リストを変更した場合



◆ 加工帳関連



# 

#### 鉄筋加工帳一覧色分け表示について



#### 加工帳未出力

鉄筋加工帳未出力で、加工帳データが ないことを表します。

#### 加工帳出力済み

鉄筋加工帳データを保有していること を表します。 鉄筋加工帳の編集・印刷が可能な状態です。

### データ変更あり

鉄筋加工帳を出力した後、鉄筋編集また は加工帳を編集した場合表示されます。



*

◆ 面体積帳関連

#### 面体積帳未出力

面体積帳票が未出力で、帳票データが ないことを表します。

#### 面体積帳出力済み

面体積帳票を出力済みで、面体積帳票 データを保有していることを表します。 帳票の編集・印刷が可能な状態です。

#### データ変更あり

面体積帳票を出力した後、帳票データを 編集した場合表示されます。

